

209
277
11

準
貴



三行
本
集
冬

ひらきあきくろく 霧原屋 板

本内妻友美名

かき かく かい かも のまより

かきりひめたり



延享三年
乙丑二月

双蝶蝶曲輪自記

長谷川有宗

伊達錦上 四郎

名筆 傾城鑑
後行者 大峯探

愛護推名歌勝関

少袖組貫練門平

度涼探 座津

小野道風青柳硯

高蒲前探弦

竹本 才三 日録

假名本 本忠臣藏
源平布引 瀧

夏祭浪丸鑑

軍法解甲具田鑑

四拾八四

服

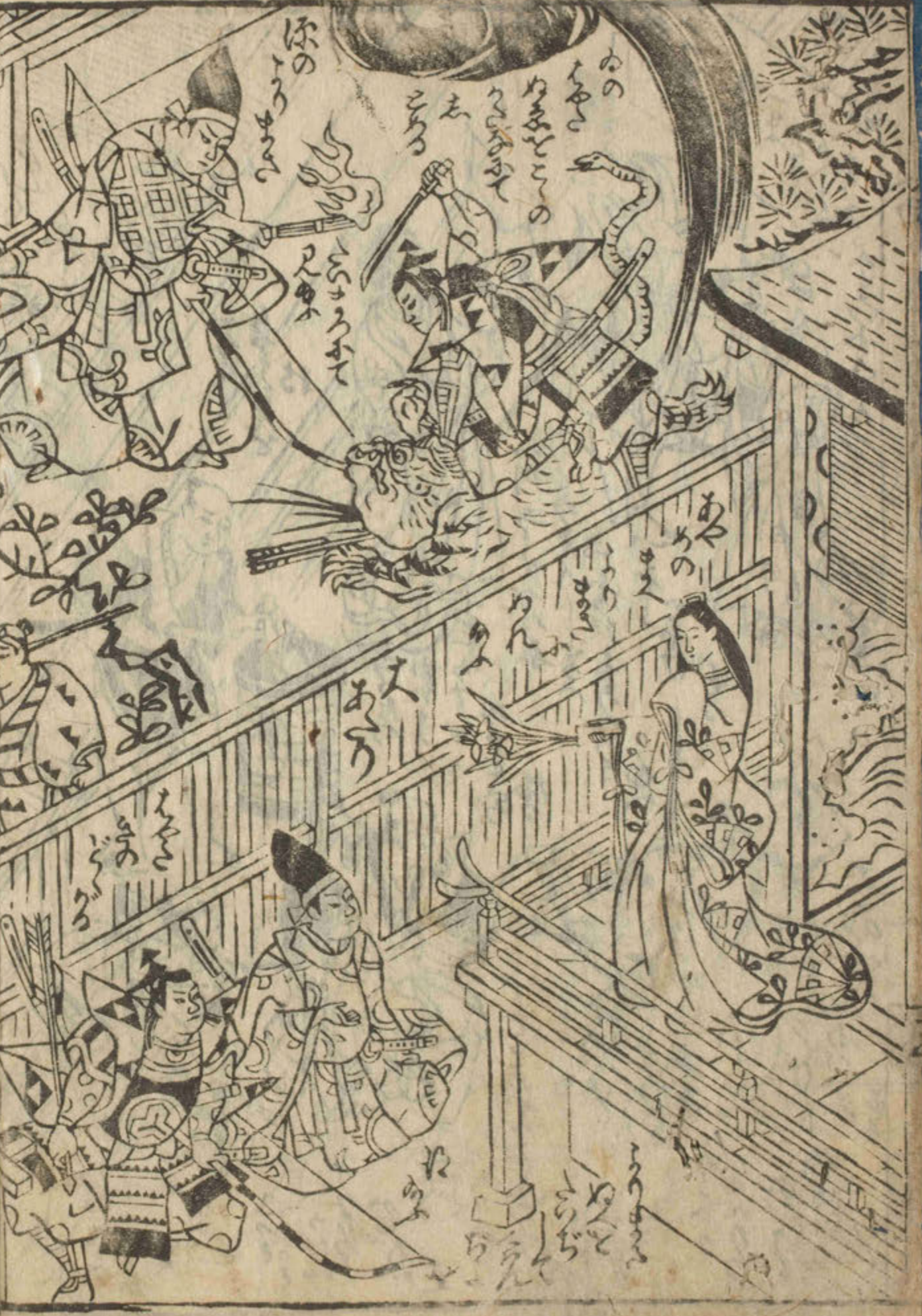
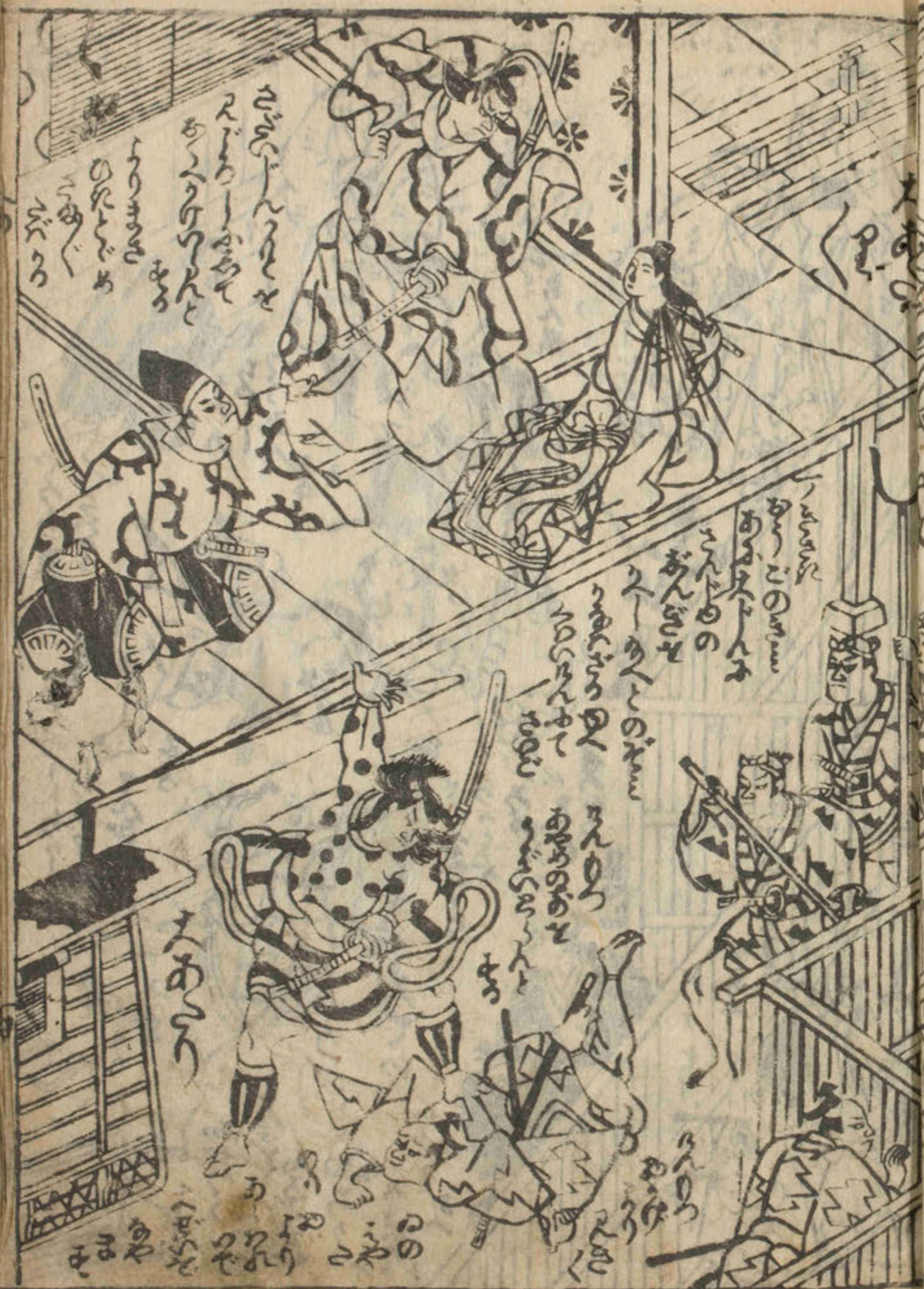


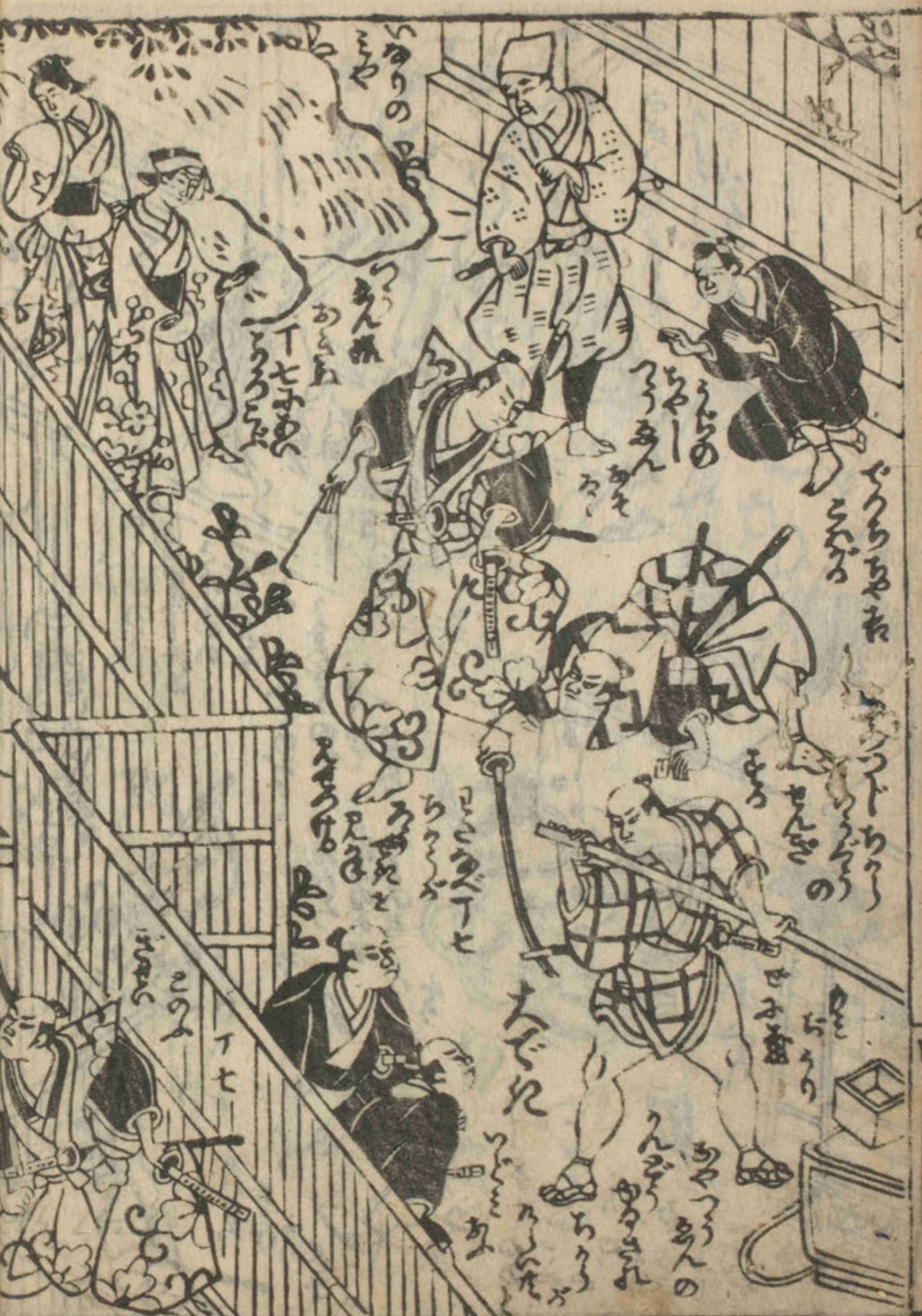
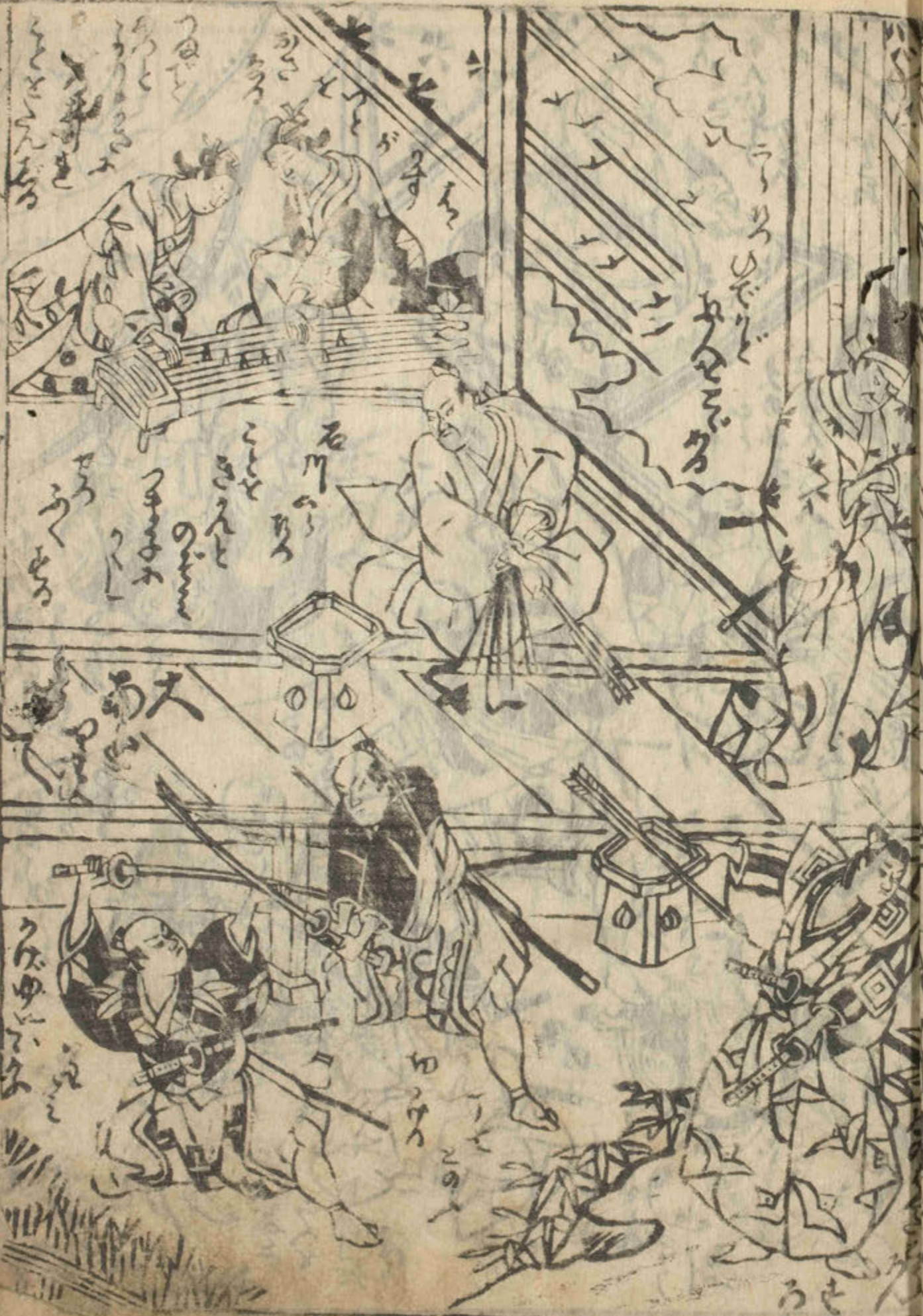
葎蒲取採弦

段續

竹本流後撰













あつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

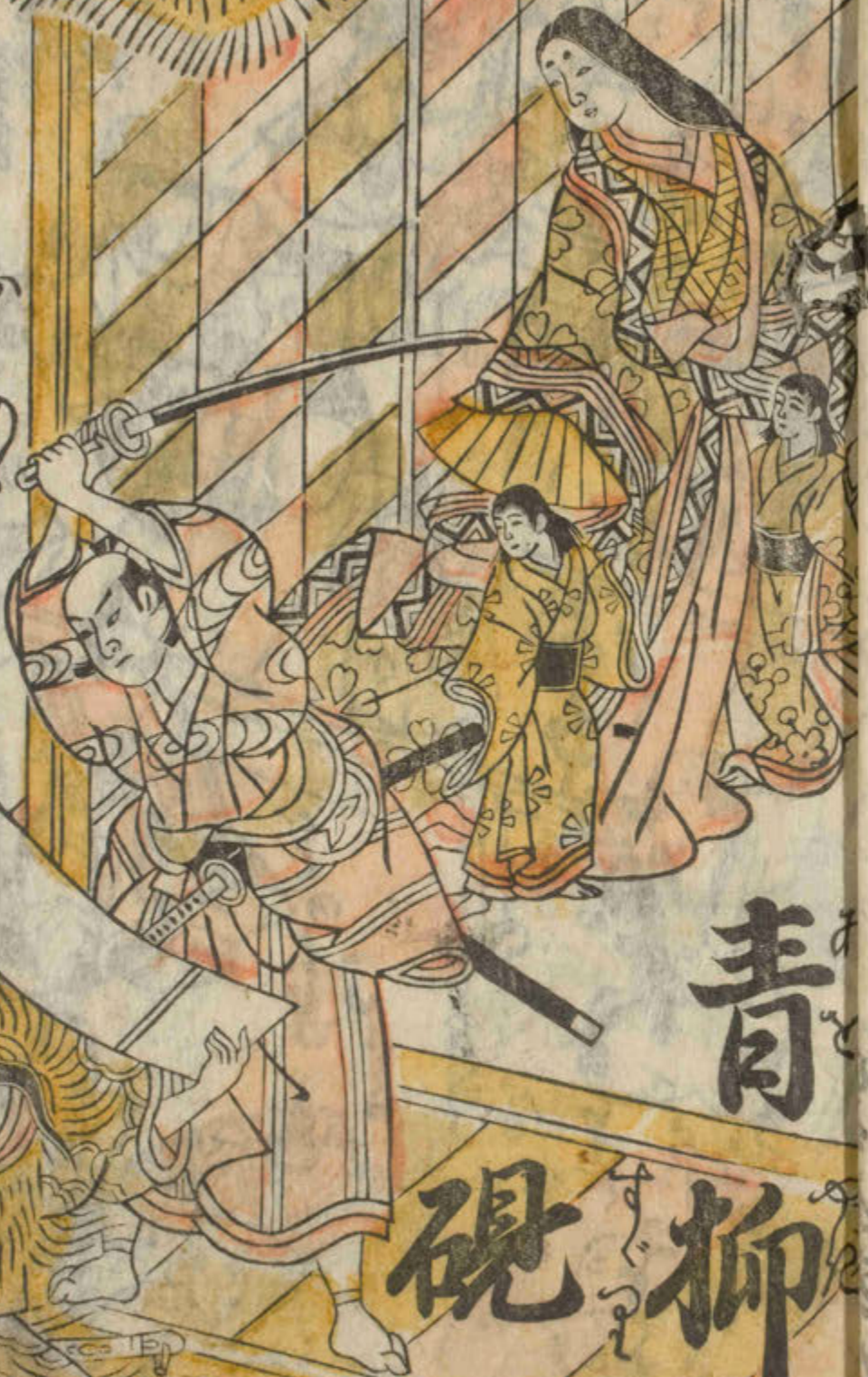
あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて



小野道風



青柳硯



又及續

全

Handwritten characters in the top right corner of the right page.

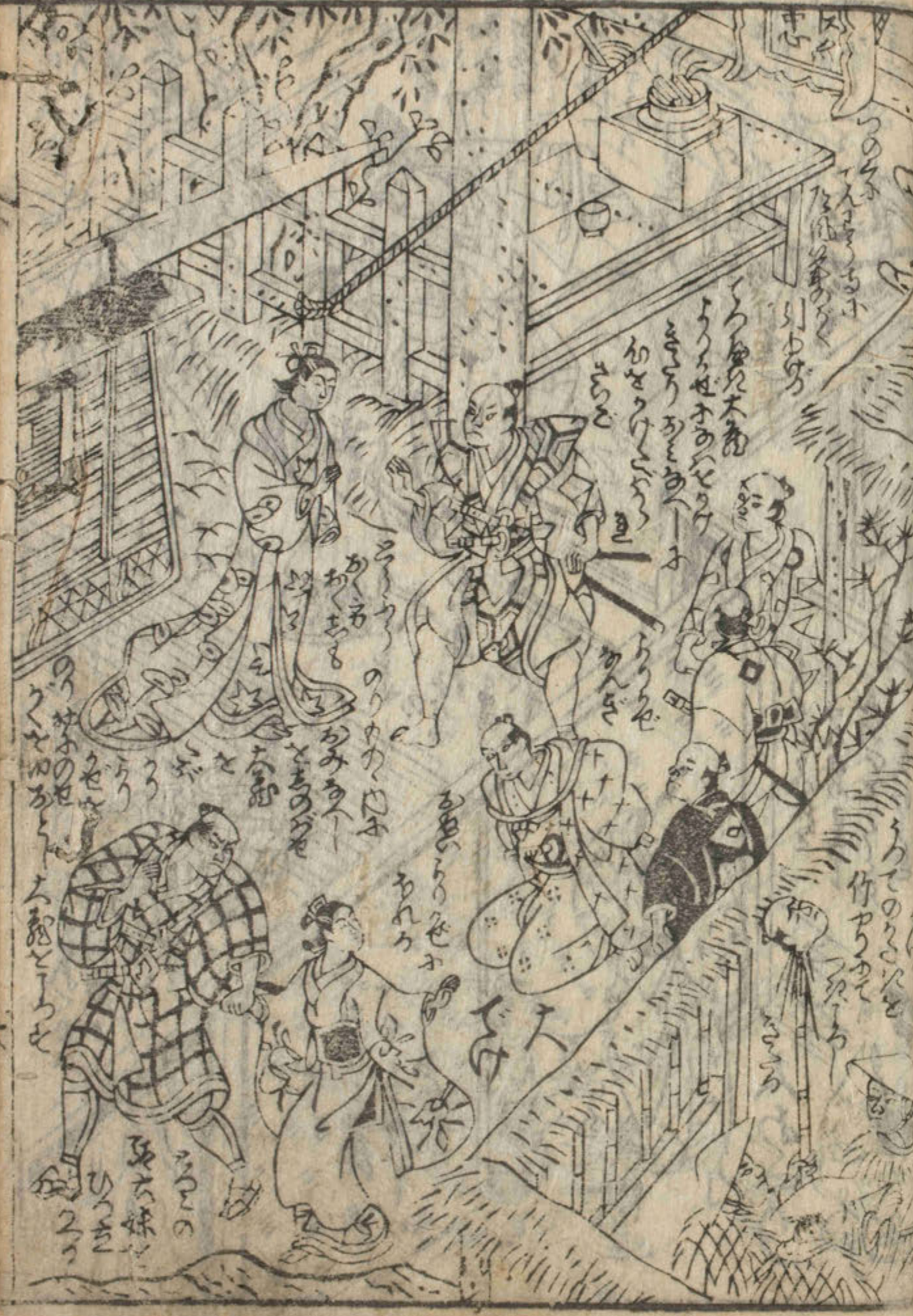
Vertical handwritten text on the right page, including the characters '青柳' and '硯'.

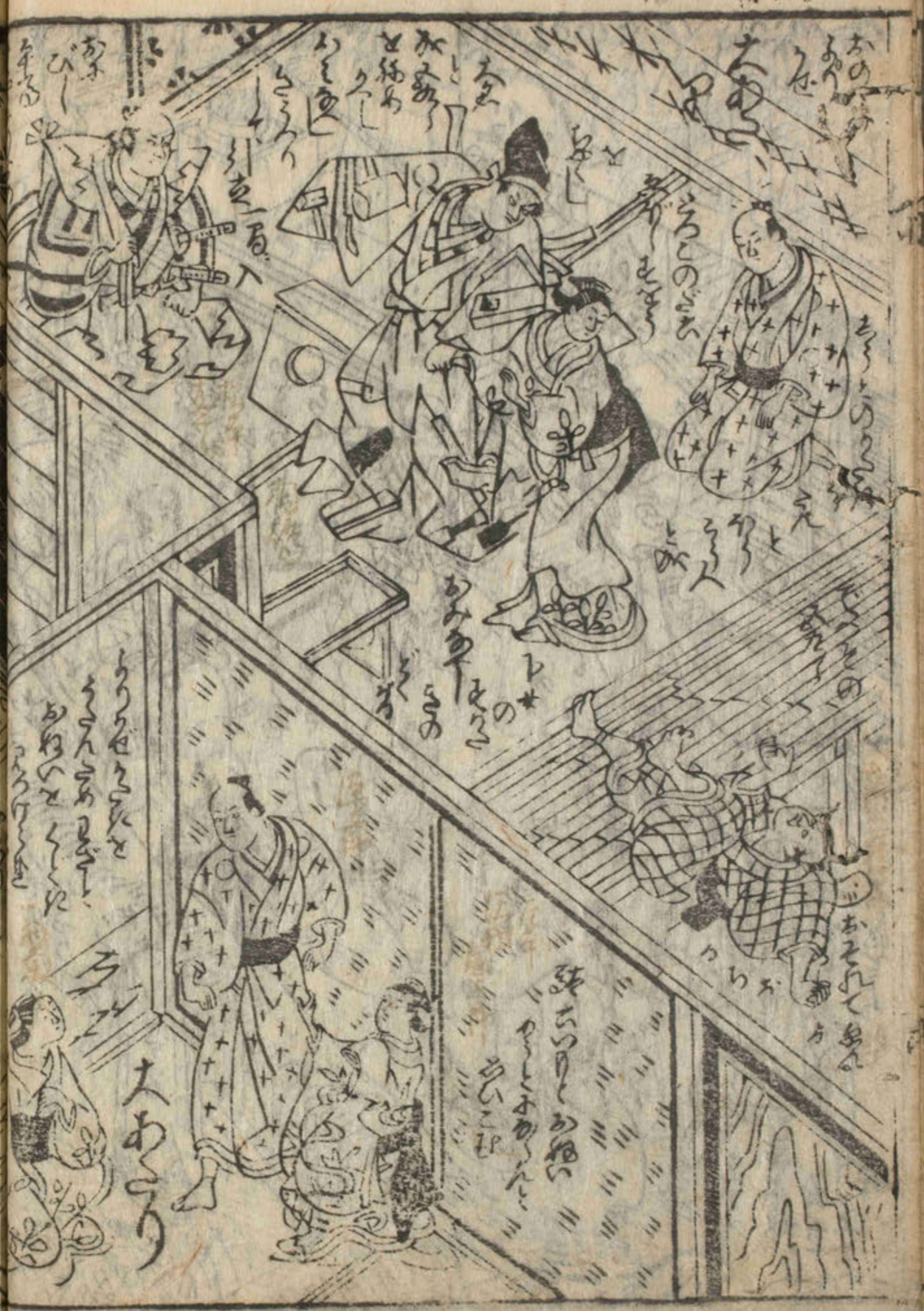
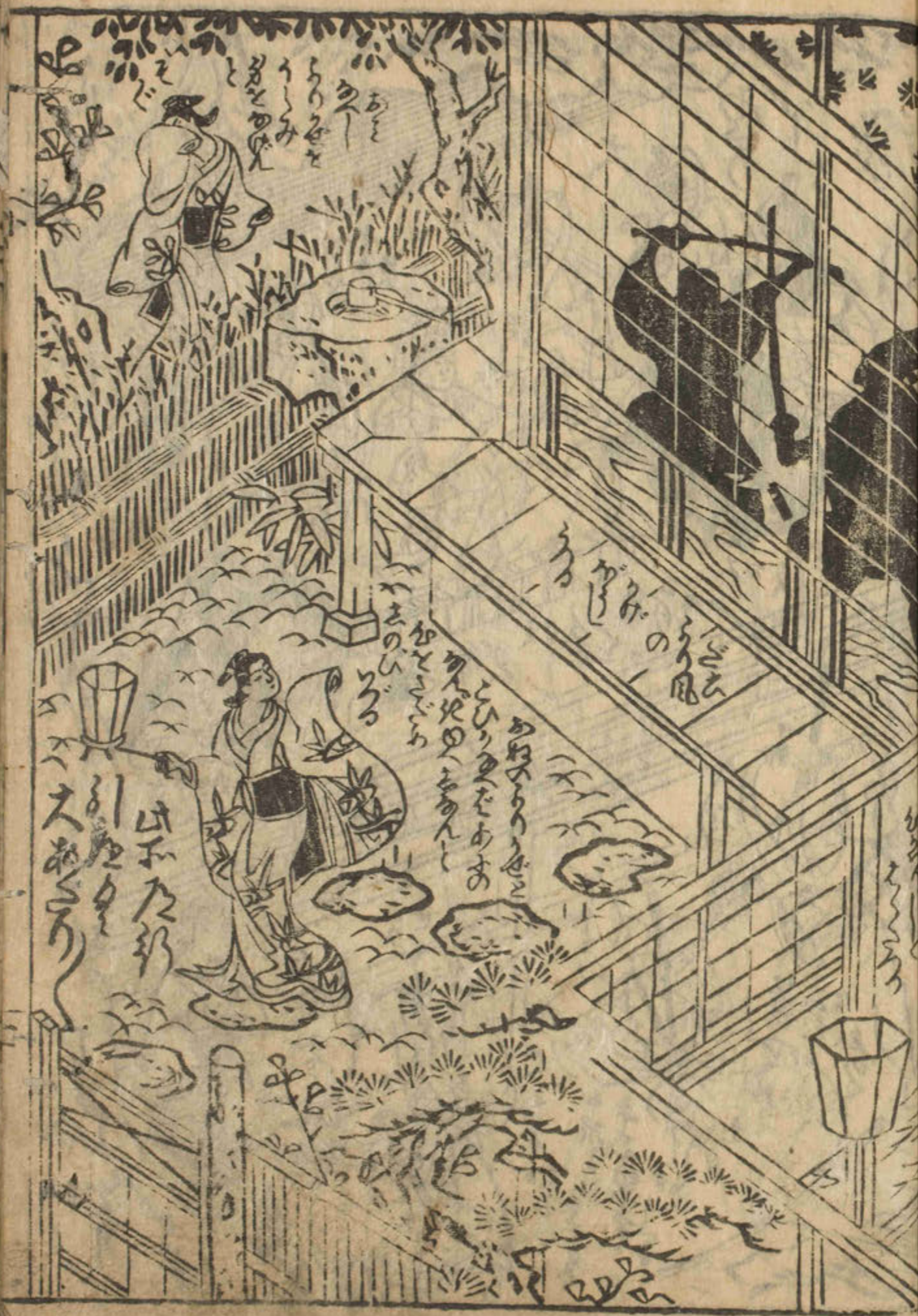
小野道風青柳硯齋續以金葉後採















東海道志
 東海道志

都美夫

澤村園太郎

形名也

寛文十一年二月廿一日

道風 辨山由厚

以六 羽衣のつた

真鳥 辰田



庭涼探座

鋪

相摸入道

全

多氏

二版撰

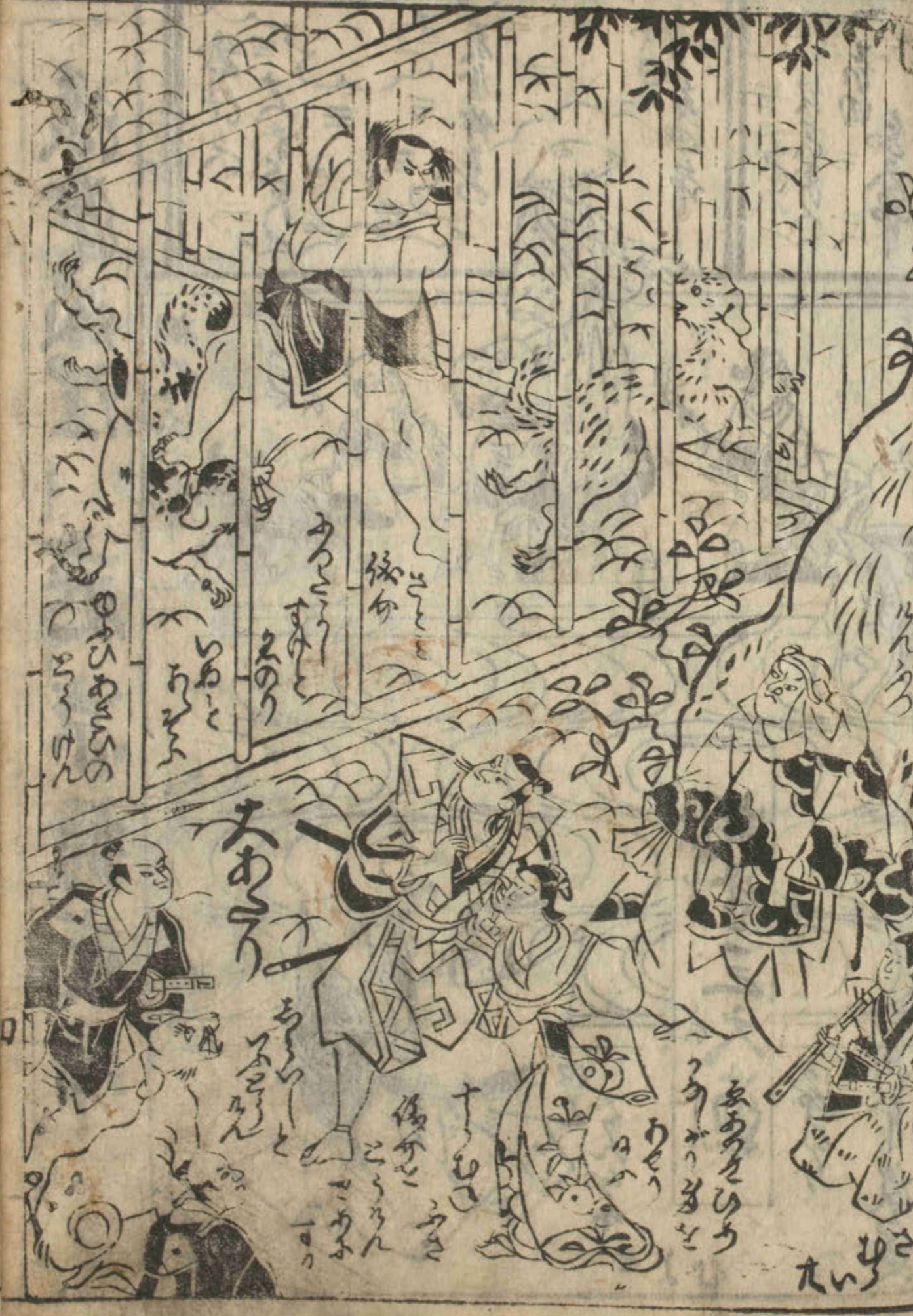
村幸次郎

Handwritten text on the reverse side of the page, including a large vertical character '探' (Sazan) and other smaller characters, some of which are partially obscured by a white paper strip.

綴目翻転



Handwritten text on the right page, including a vertical title '相摸入道' (Aisomori-dō) and other illegible characters.



徳洋海理 庭京探座鋪

出候ふ
人あはる
夏空伴ま

海田
夏田年

いまあは
長田
あはる

御三郎
去儀三津八

桐竹流十年



倭美
倭美

赤田文三郎

乃

相生三火燭



いと
ざんざん

むよと

海あり

竹中紋ち更

竹中深ち更
竹中折更

対の花の

竹川
七下次





以
大
あ
り

千
年
栞
物
乃
き
ん



津
波
藩
竹
本
政
方
更

老
田
文
常

人
形
大
儀
之
深
八

田
中
小
八



津乃り百景

長田文三郎

はみみく大あり

与り
竹中折為更
竹中深方更
人形
長田文三郎
長田文三郎



長田文三郎のたん

上り利
竹中大和振

源氏
桐竹源七郎
長田文三郎
長田九十郎



袖組 貫練

門平

十番後

大おろ

全

此志

下実 女秋新妓 上実 男秋新妓 本筋後揚



花

花

馬場

三娘が徳の娘



お宿の候



お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候



お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候

お宿の候



大あつこ

大あつこ
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

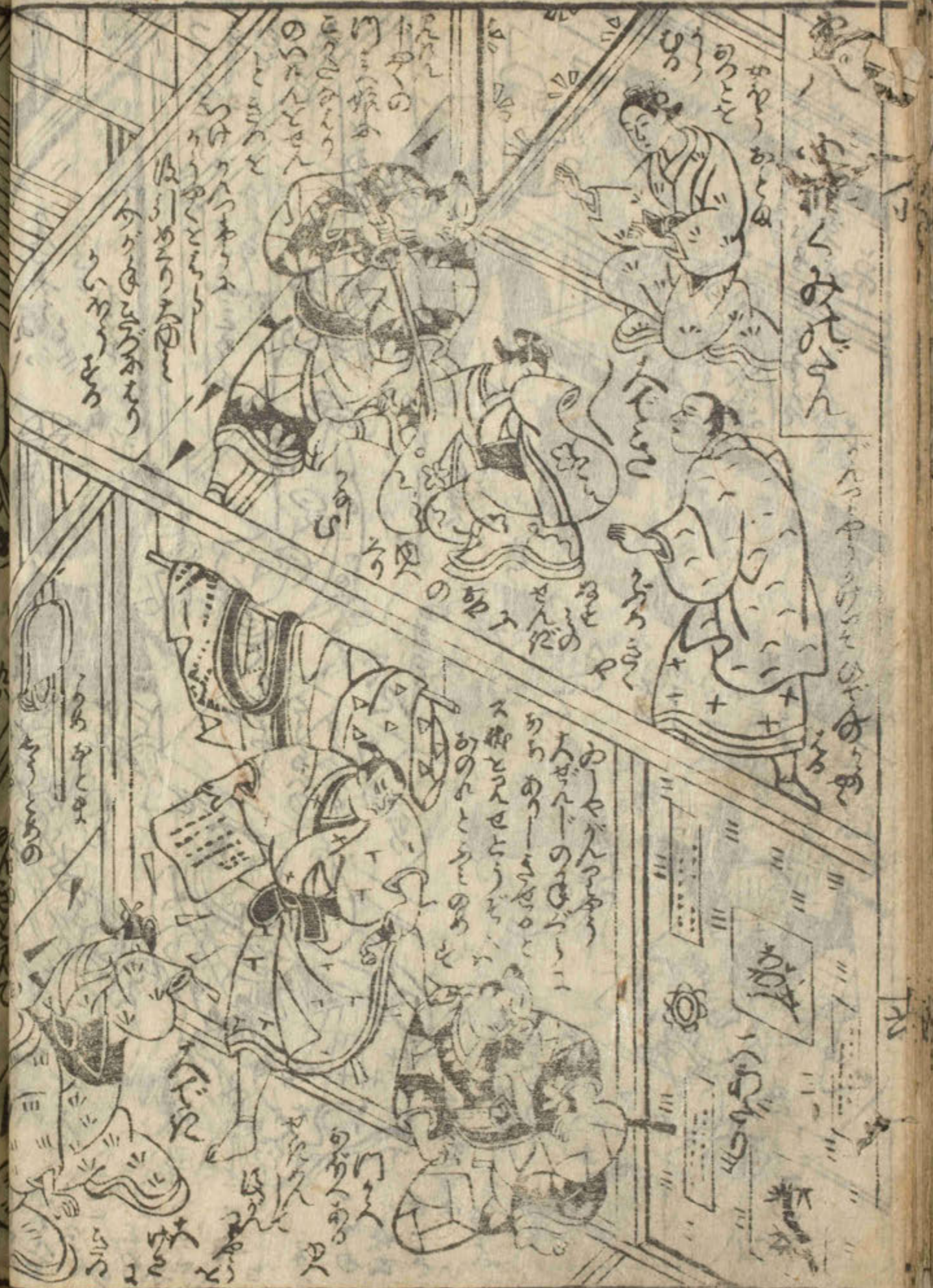
あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ



あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ

あつこの
あつこ



名な

護ご

愛あ

歌勝関かのせき

稚し

中ちゆう
後ご

全ぜん
後ご

一公家直書

飛田書

綴目翻転



歌勝関



愛護推名秋勝閑物後竹太流後家







わかれのさかめ
ゆりと春の
あそびあり

かたのうら
みあり

まじり
あそび
あそび
あそび

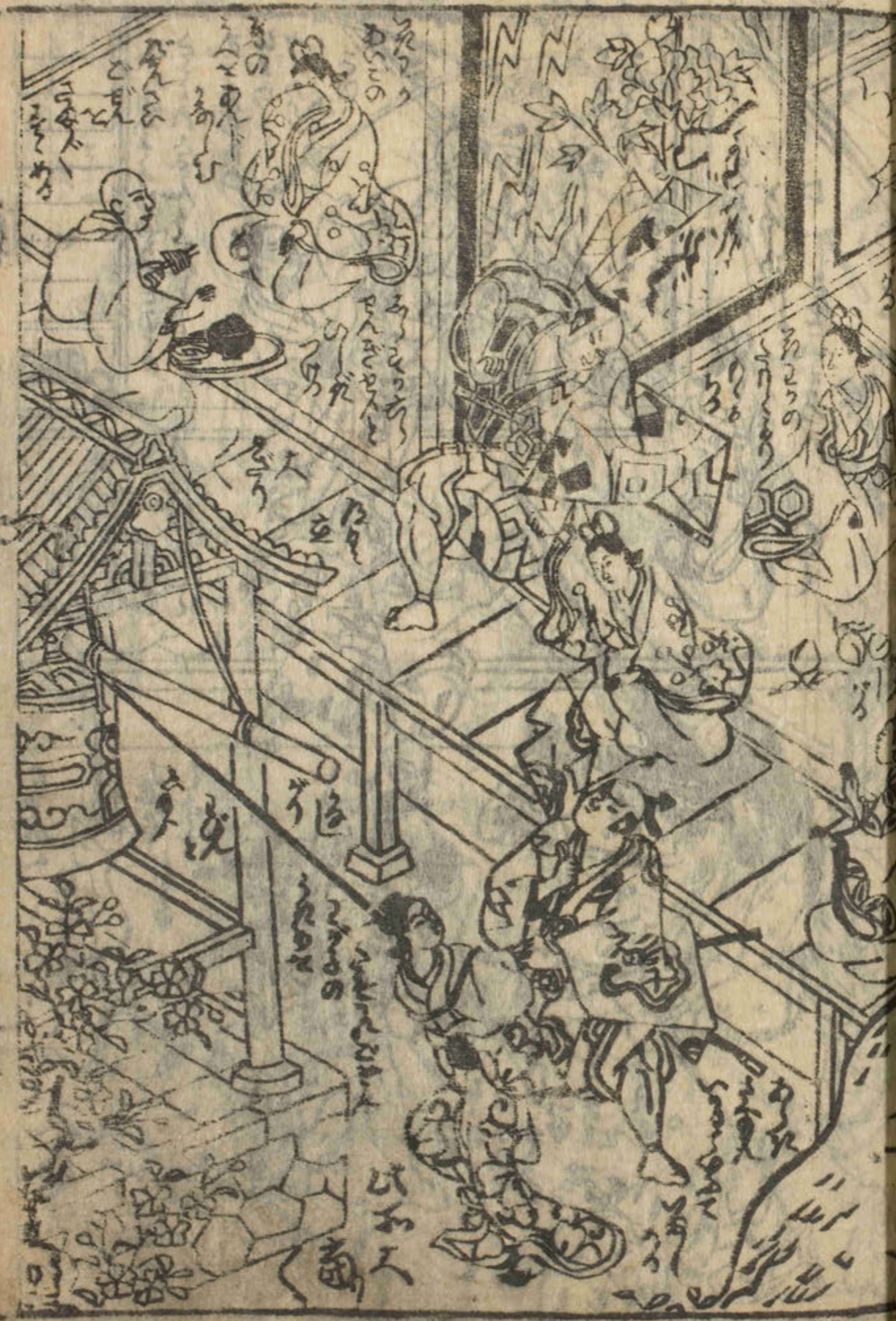
あそび
あそび
あそび
あそび

あそび
あそび
あそび

あそび

あそび
あそび
あそび

あそび





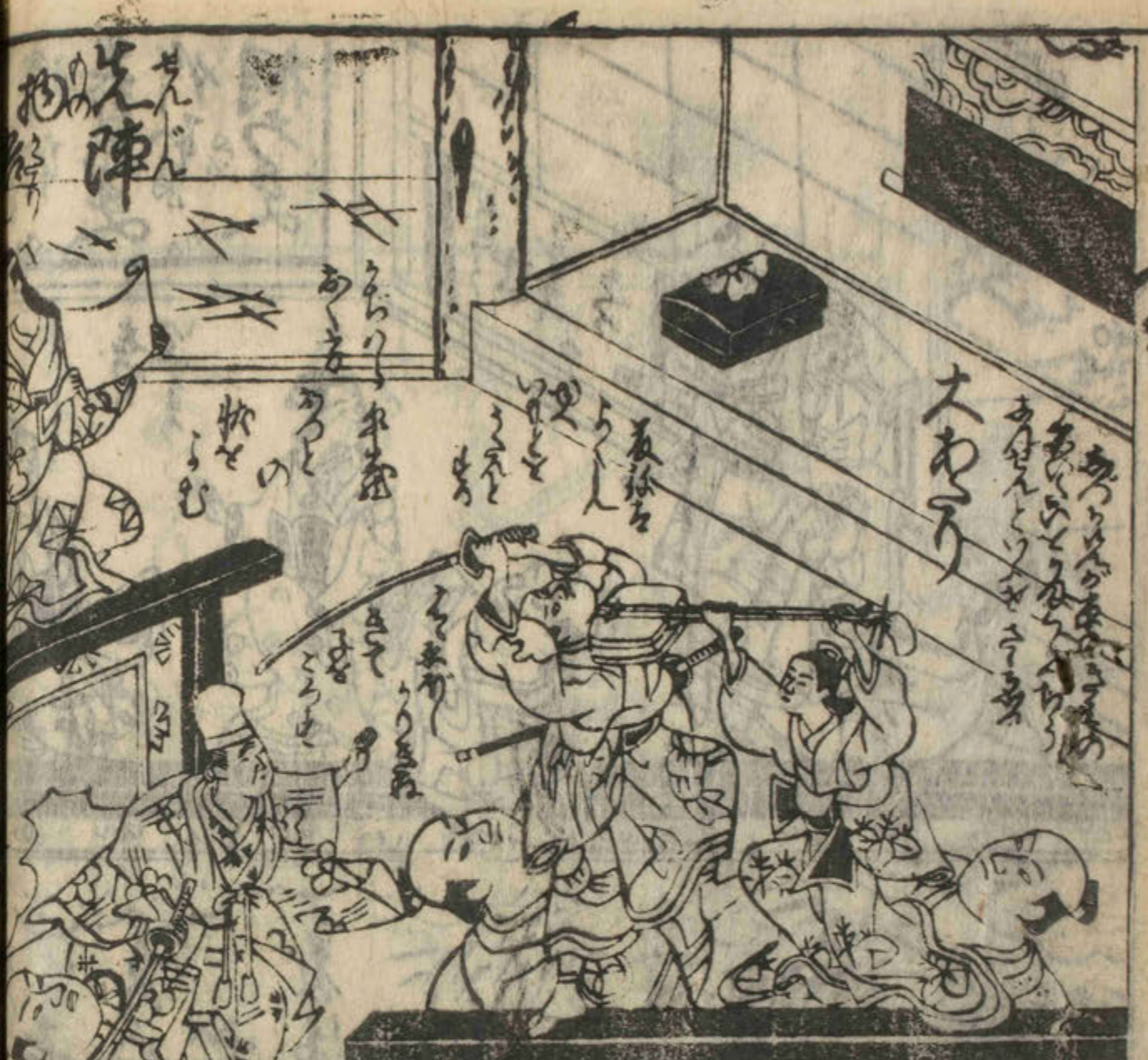
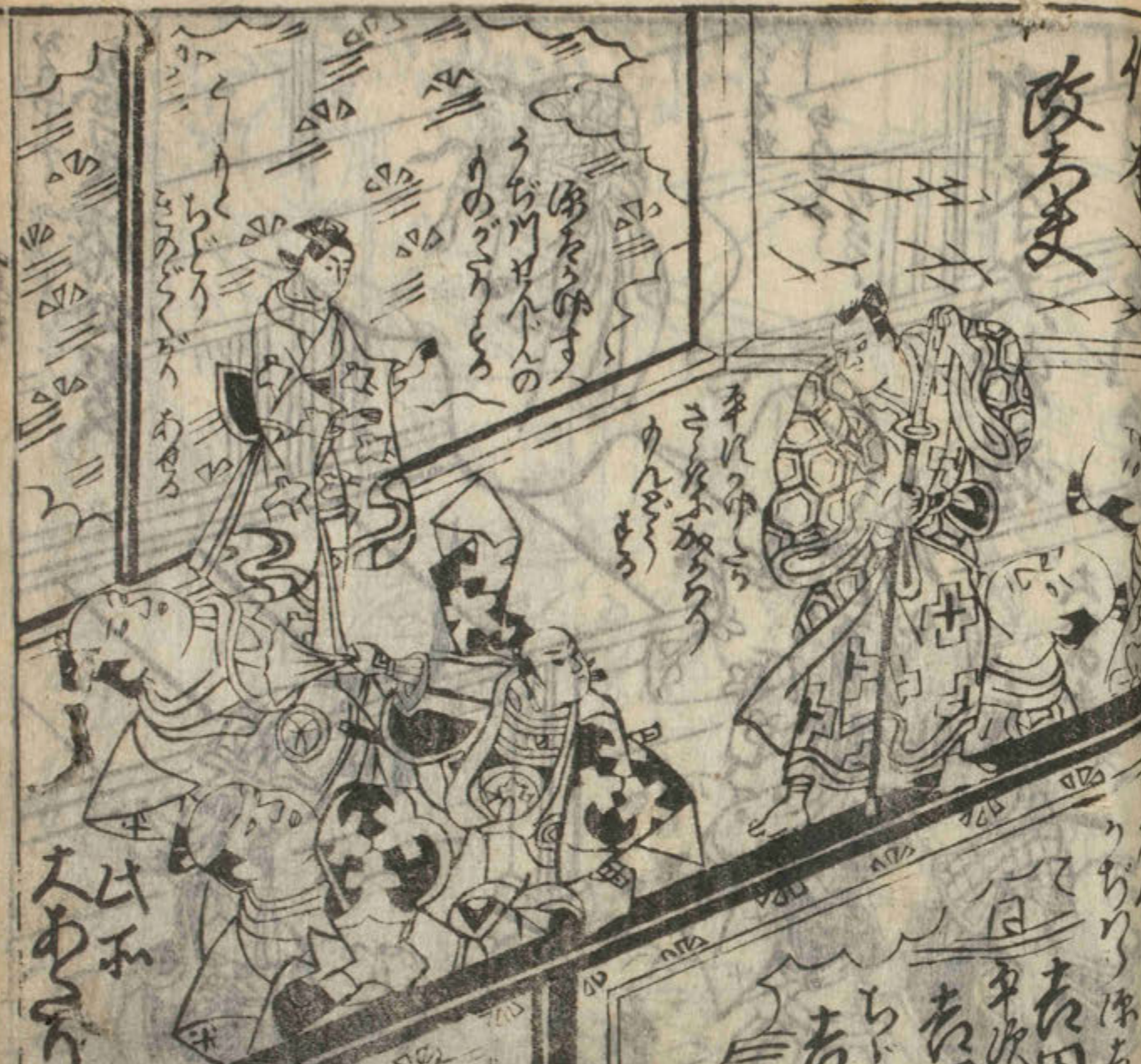
山樹甚老
右柳移
嵐也而
尾上新十

竹本流授

全

政方

陣



大は

大わたり

吉田文三郎
吉田彦三郎
吉田喜又郎

清田右四郎





西行橋と後
竹本橋と更

大あつり

長四十九年

桐竹
門之系

桐竹
源十郎

子母
長四
桐竹



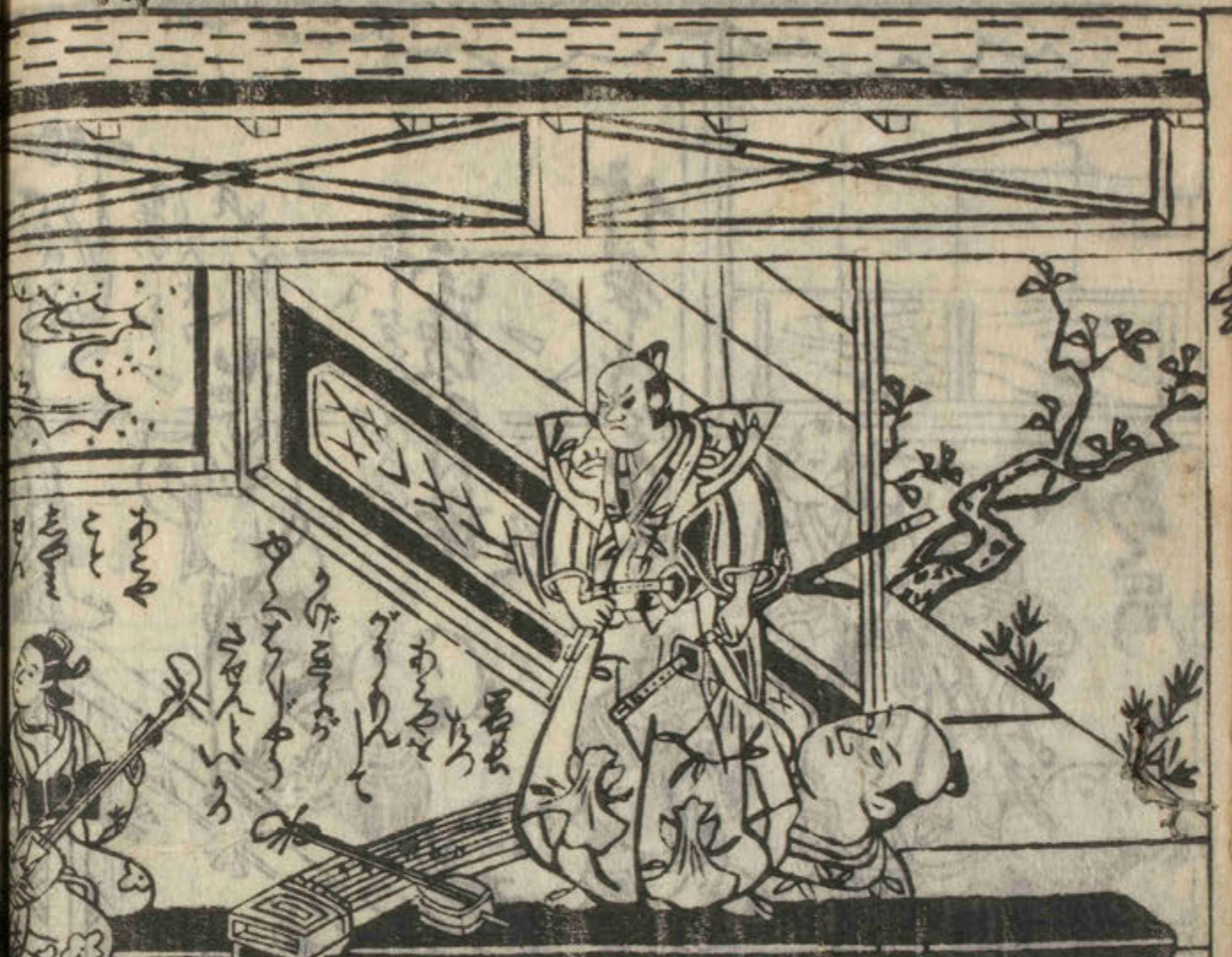
竹本改更
三後骨橋

大あつり

田中平治郎

桐竹
門之系

大あつり



あゝ責れは
 竹本大和様
 お中平次
 長田文彦



あゝ責れは
 長田文彦
 桐竹助三郎



伊^だ

達^て

錦^{にしき}

女^め義^ぎ經^{けい}

本^{ほん}筑^{ちく}後^ご撥^{はく}



四^し郡^{ぐん}

五^ご十^{じゅう}

五^ご段^{だん}續^{つづ}

全^{ぜん}く^く決^{けつ}急^{きゅう}

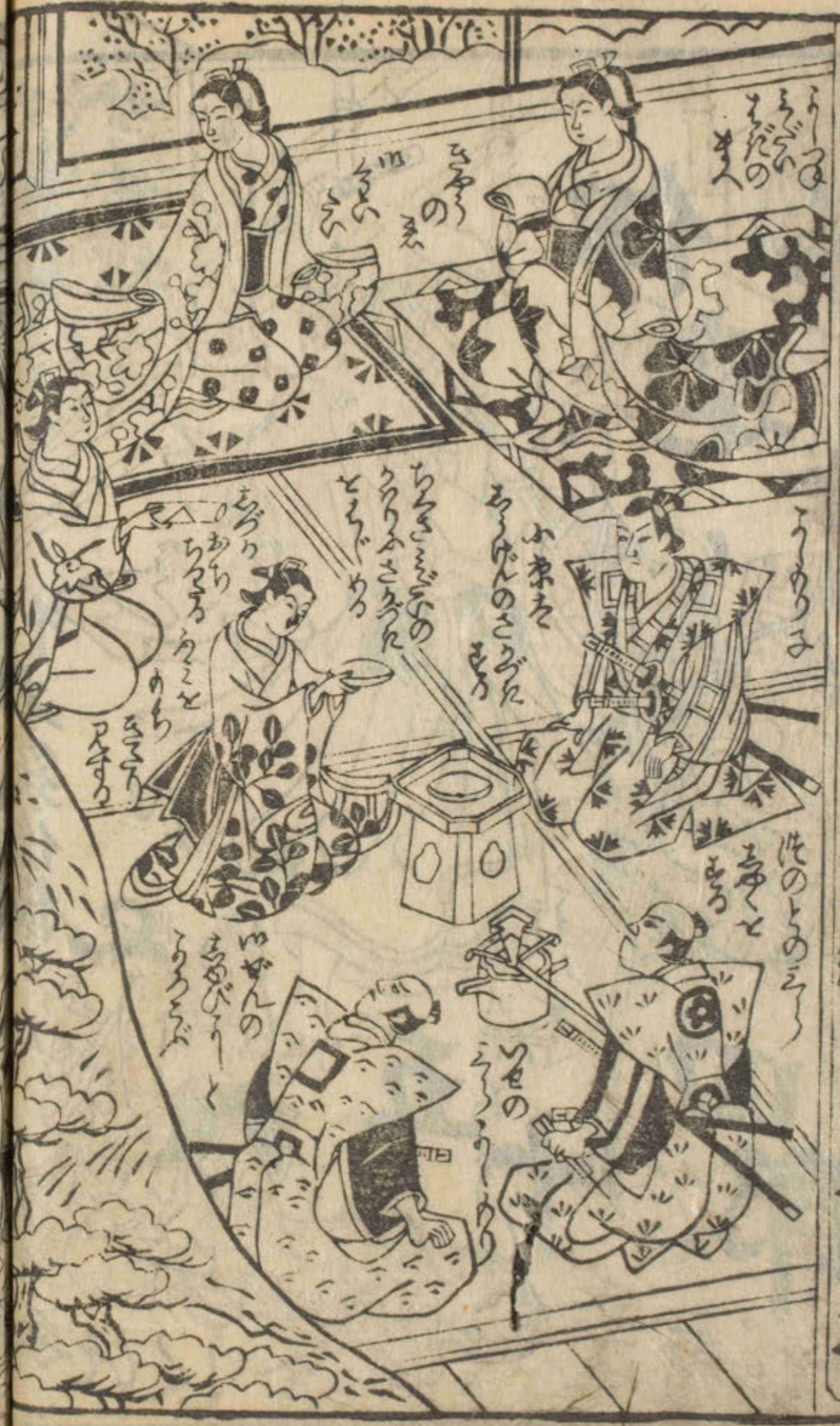
Handwritten characters on the right page, possibly a signature or title.



如頼朝
如頼朝

伊達錦五十四郡

御五
竹本
孫後孫



うしろ
まの
まの

まの
まの

うしろ

おまを
まの

まの
まの

まの
まの

まの
まの



まの
まの

まの
まの

まの
まの

まの
まの

まの
まの

まの
まの

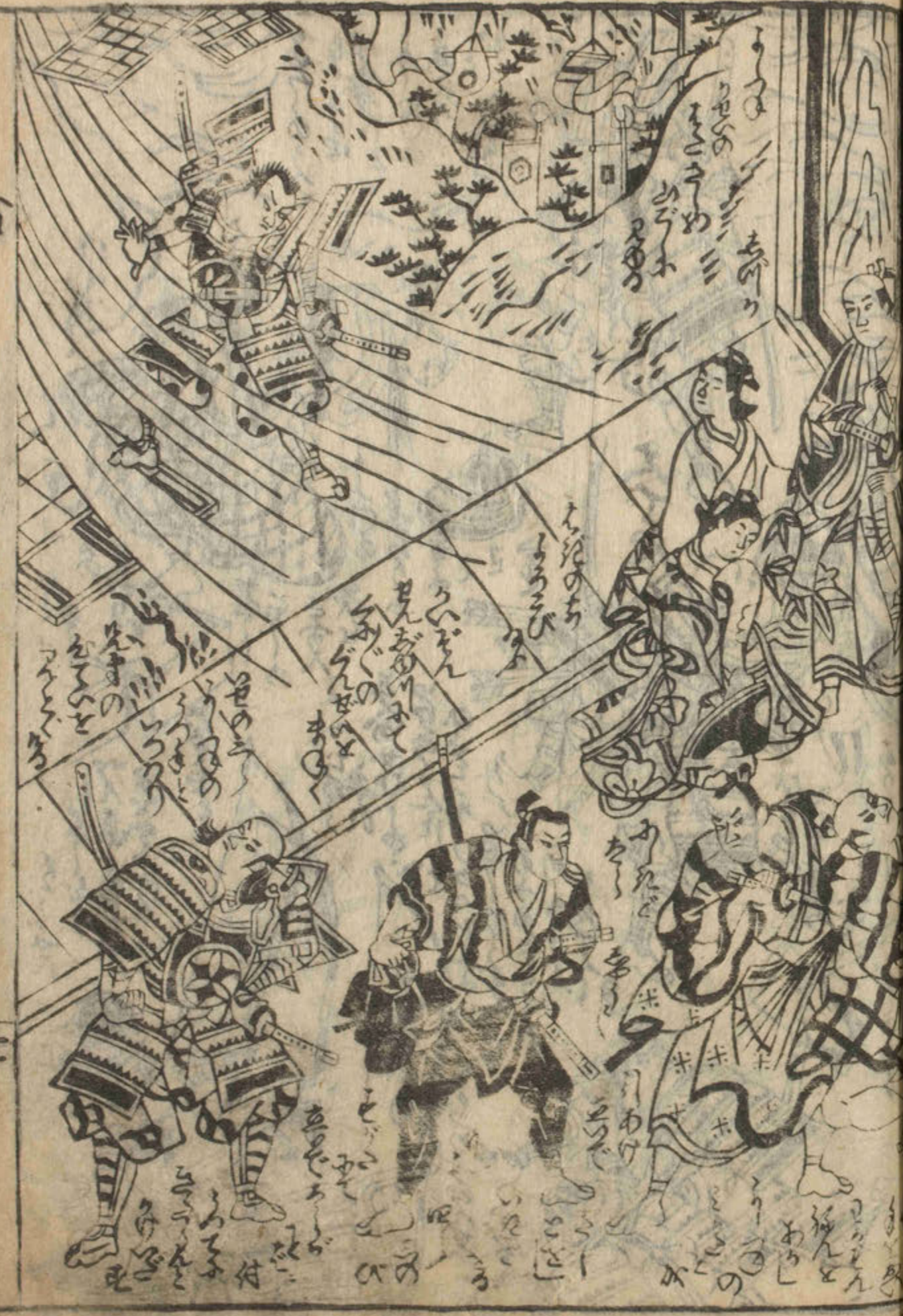
まの
まの

甲













花洛高城

名筆
傾城

鑑

十二卷全

花洛高城

京麩屋町通華嚴寺下町
八文字屋八右衛門板

双
目
反
転



京
越
屋
町
通
華
積
寺
下
町
八
文
中
屋
八
九
東
の
板


 教賢堂 山崎
 石筆傾城鑑
 申三月廿一日
 竹本
 悦茂楼

竹本士依太夫
 身一
 有り明子れ漫



民治
 子美

下ノ又太師

若田はま

花のうら
 あらうり
 けりふちのうら

めい
 むら
 むら
 むら

大に

ろが
 ろが
 ろが
 ろが



三
 三

れ東のちまう
 むんより
 ねのたどのどま

むら
 むら

若田大吉

相山門次

ふえの
 むら
 むら
 むら

まつ
 ひそ
 ひそ

下ノ又太師

大に

若田大吉

むら
 むら
 むら



ふきの
たけん
かた

和門次

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

ふきの
たけん
かた

三
あつた
あつた
あつた

竹千代
あつた
あつた
あつた



ふきの
たけん
かた

あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

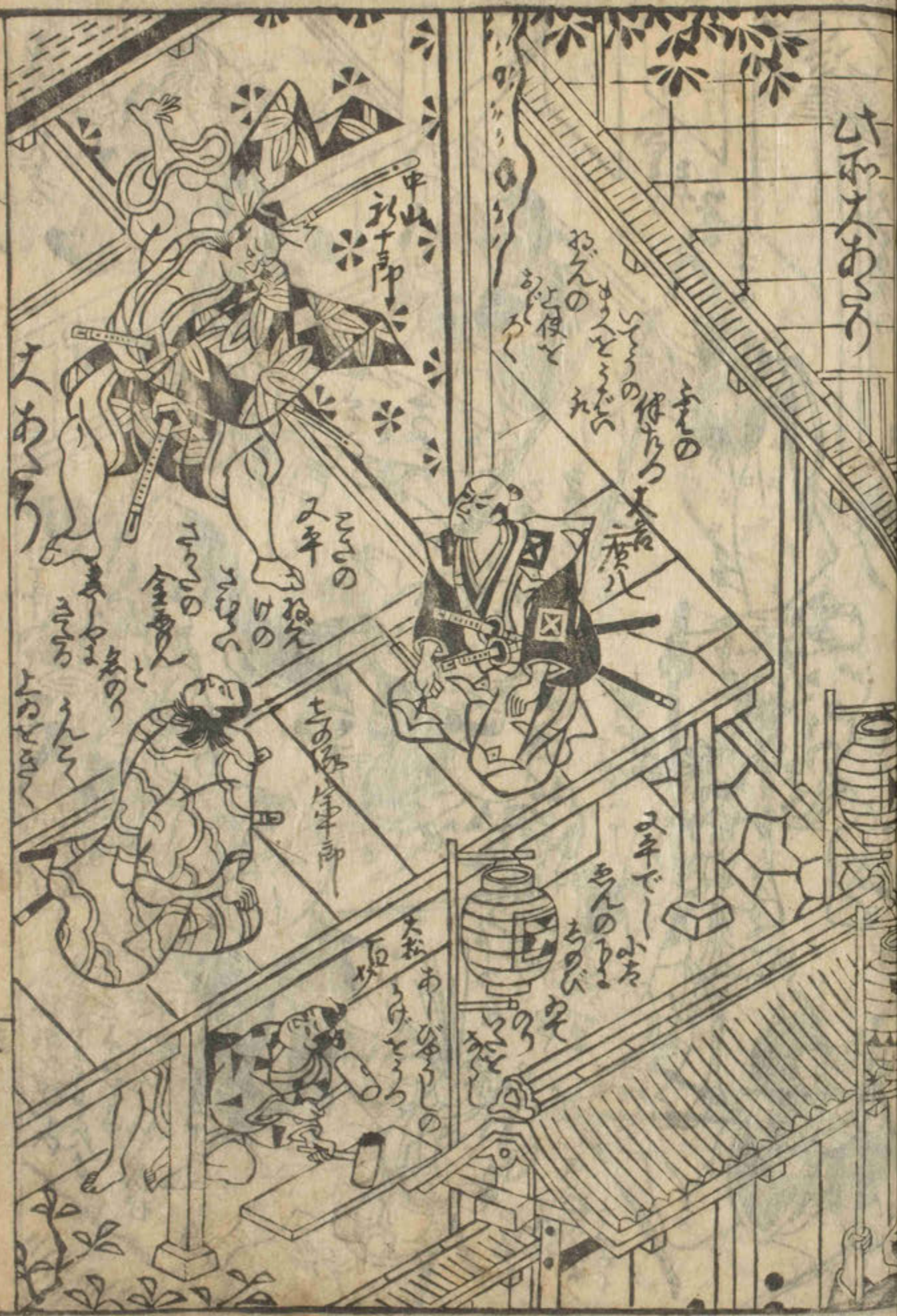
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

中野のぞん



ひふたあつ



又使忠叶

かきうおしうき

でーまりのみ

あそとらひ

どこのおびん又平がひつちと

ごんざり

中山

又平

七の

又平で

大松

又平

中山

又平で

又平

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

中山

又平

七の

又平で

大松

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

あそとらひ

第六 大津波のうへ

あややのうへ
大津波のうへ

あややのうへ



第七 大津波のうへ

あややのうへ



あやのうへ

あやのうへ

八 大りんからみ後



あつたにせしむる人た
去柳をたれ
やひあくゆきと
芳子の金をと
うしとちか
かこち
まのく
藤鬼大主
ふとの

相山決

大あつ

九 ねのぬれだん



ひお大者

嵐六

大でん

大言

大和山
仙那

第十四 及堀番九候

三三三
堀番八

竹本
大和板
上り
ふし事



大和



嵐山六



若田清三



山下冬神

この
やう
の
か
ら
さ
ら
な
ら
ば

竹本
お笑
お更

相如
かみ



若田文三
おぼく
の
侍

おぼく
の
侍



九



櫻

大峯

役行者

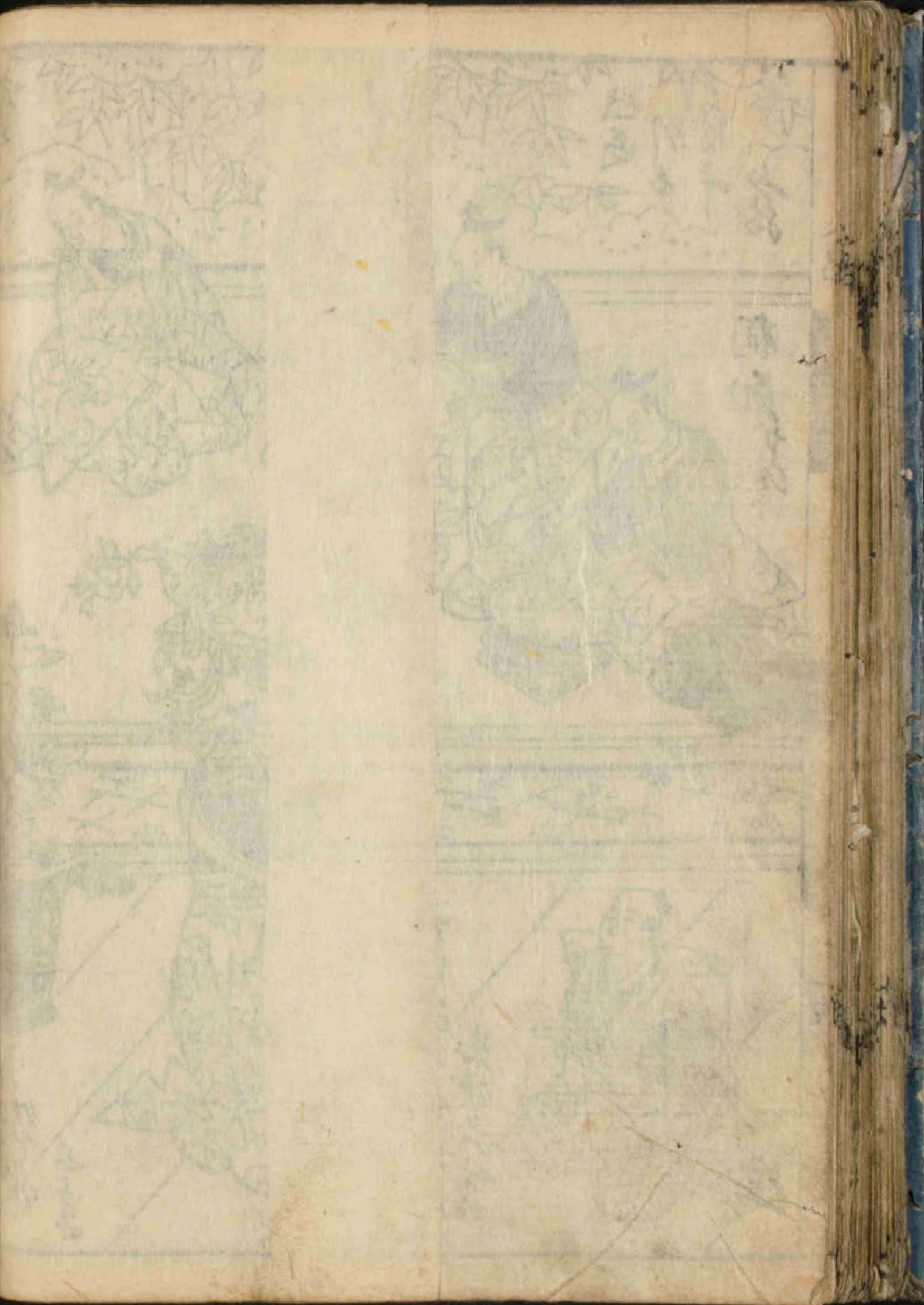
大あやう

竹本筑後掾

くはゑ

又は續

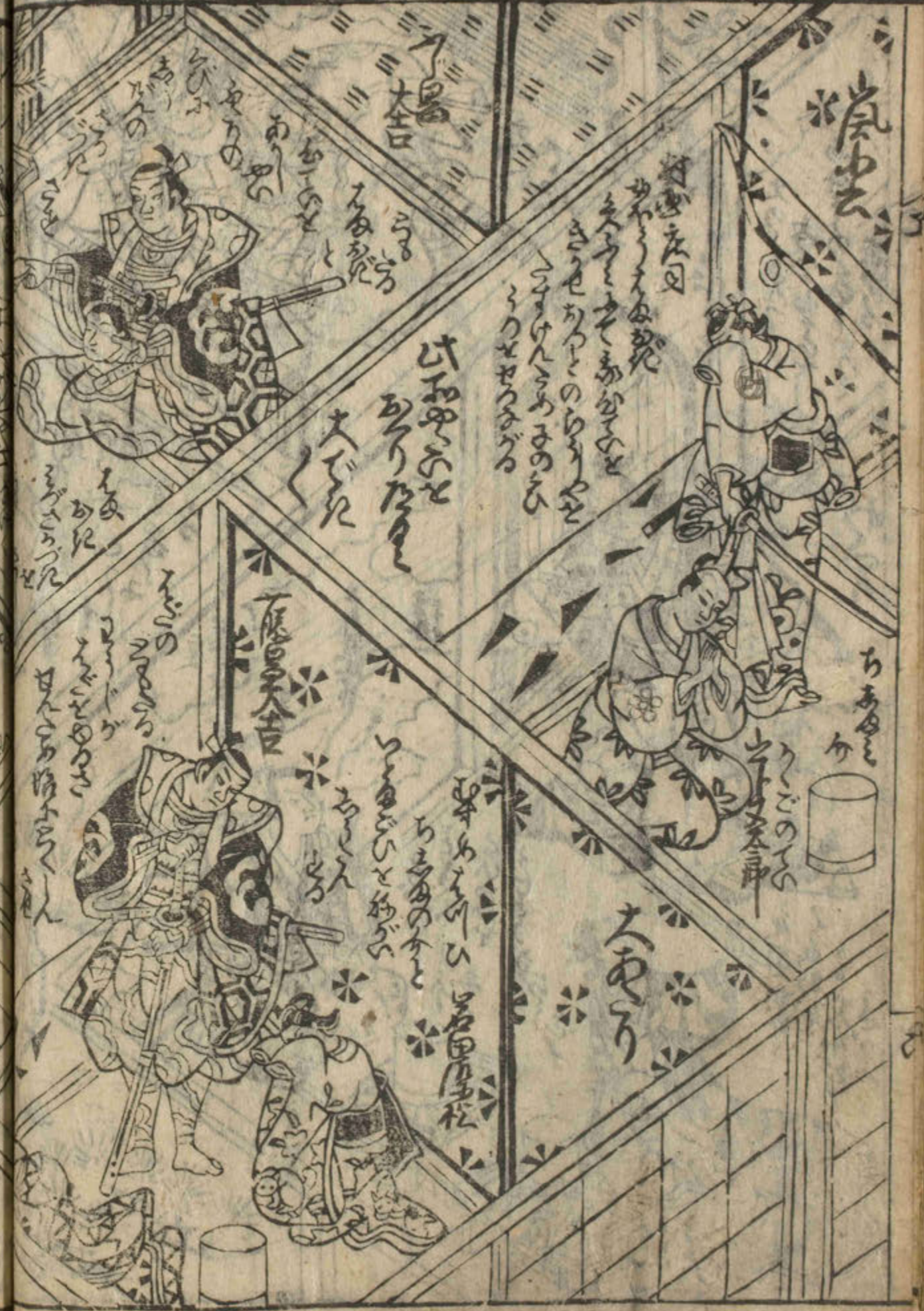
全





後行者大塚掃五郎續竹本筑後掾





蝶蝶双

関取沼髪
名取放駒



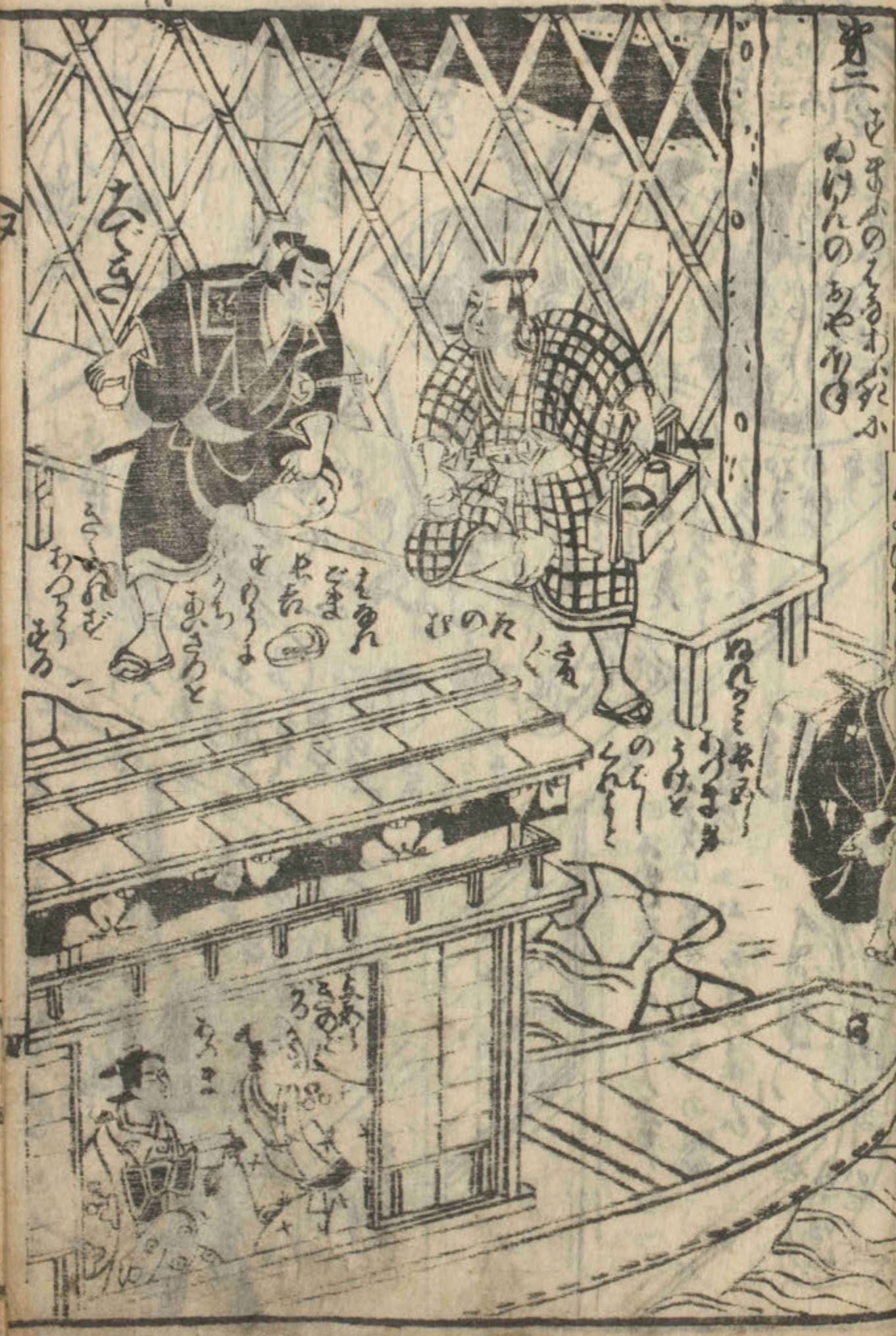
京三條通寺町角
鶴屋喜右衛門板

Handwritten text on a piece of paper pasted onto the right page.

双日新記



京三條通寺町角
鶴屋喜右衛門板



二
よまののこまわたりか
おけんのあやりの



の
ま

おさねまはまへちりやなのもよ
まゆきまはまへちりやなのもよ
入用とせうごんにおたわひ
まはまへちりやなのもよ
まはまへちりやなのもよ

おさねまはまへちりやなのもよ
まゆきまはまへちりやなのもよ
入用とせうごんにおたわひ
まはまへちりやなのもよ
まはまへちりやなのもよ

おさね
まはまへちりやなのもよ
まゆき
入用とせうごんにおたわひ
まはまへちりやなのもよ
まはまへちりやなのもよ



大七 乃乃あまの
もろれぞら

よはまのあまの

あまのあまの

あまのあまの

あまのあまの

あまのあまの



あまのあまの

あまのあまの

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

あまのあまの





おれは
おれは
おれは

八
り
り



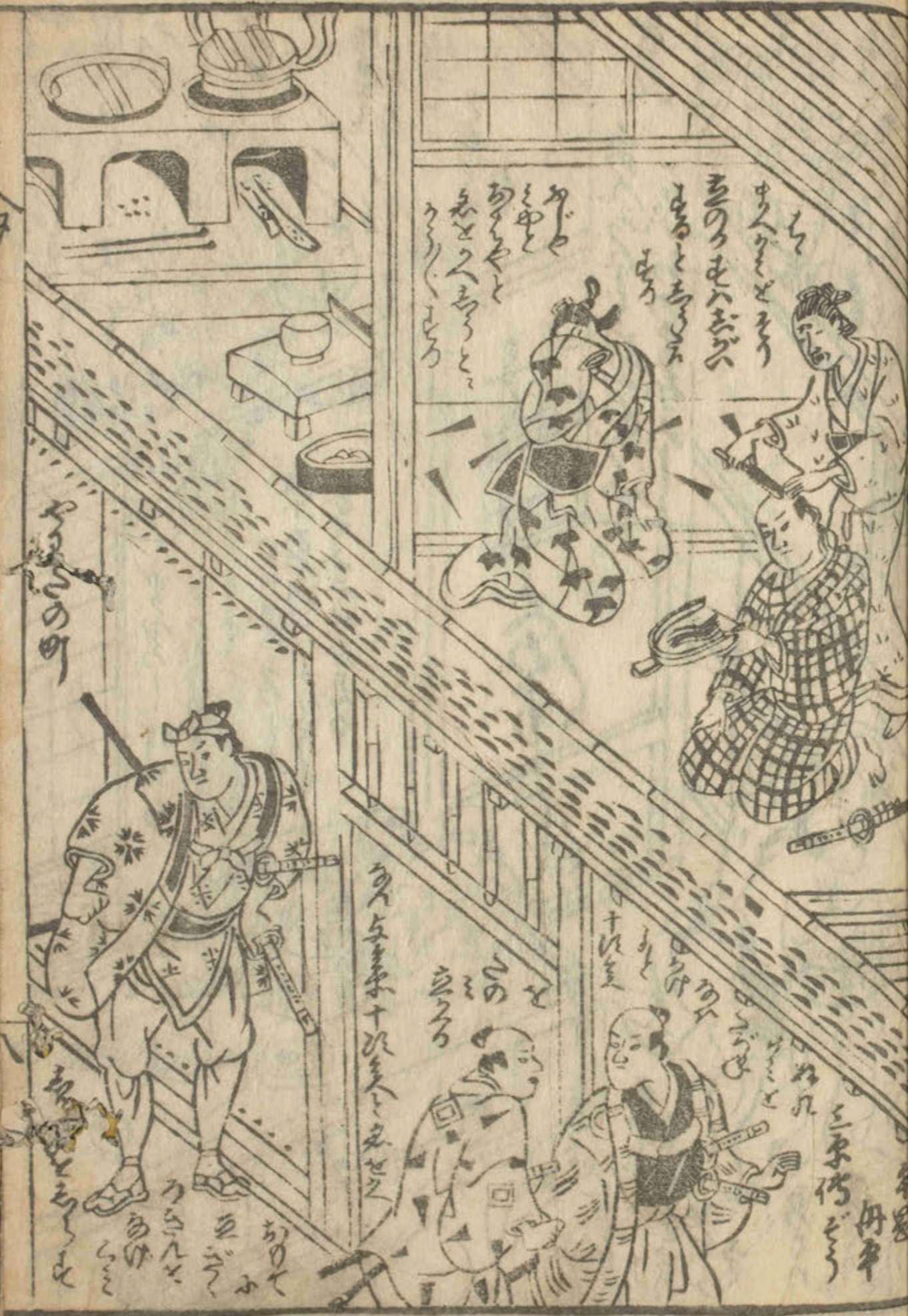
おれは
おれは
おれは

おれは



おれは
おれは
おれは

おれは



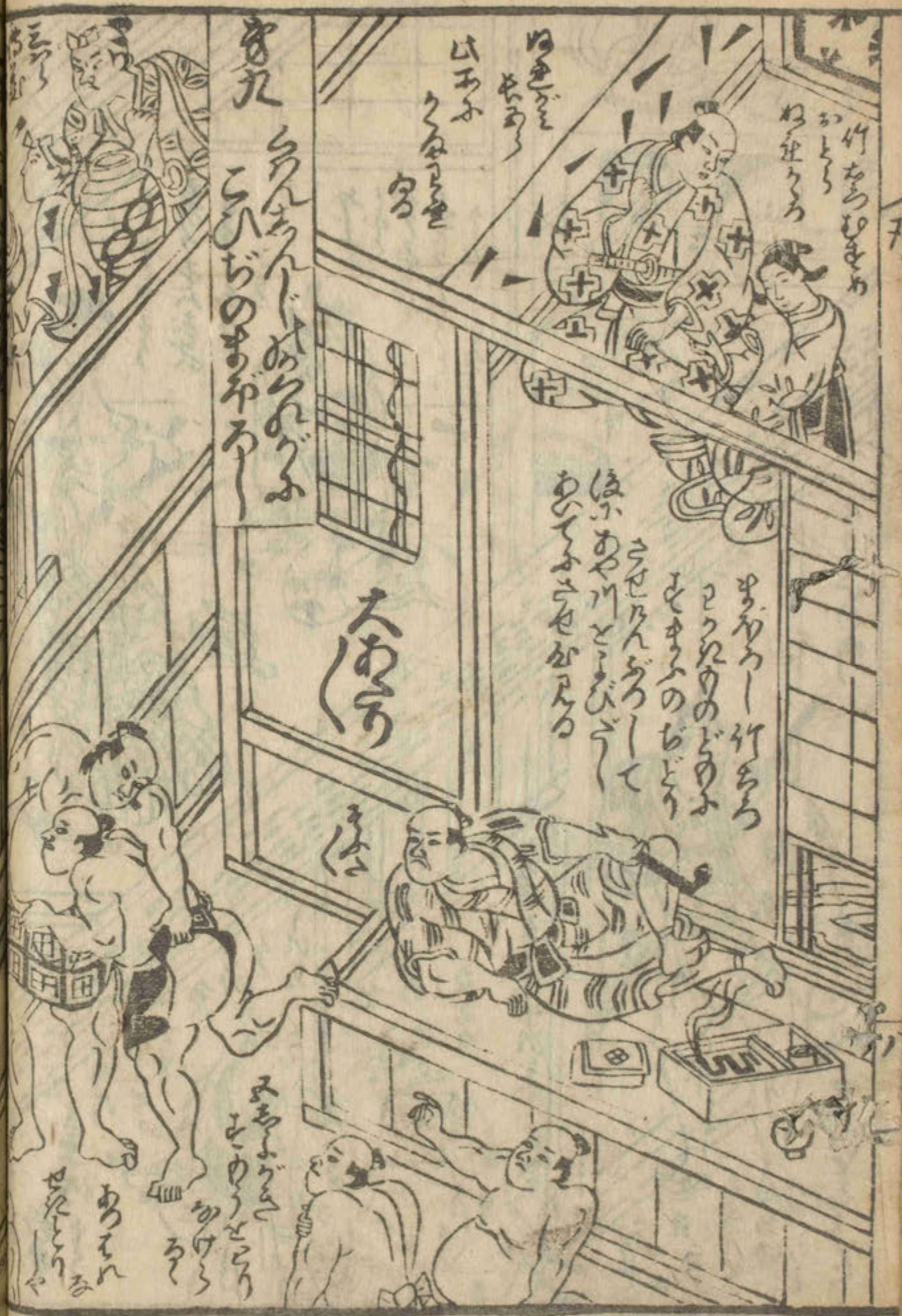
おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは

おれは

おれは
おれは
おれは

あつたて



あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

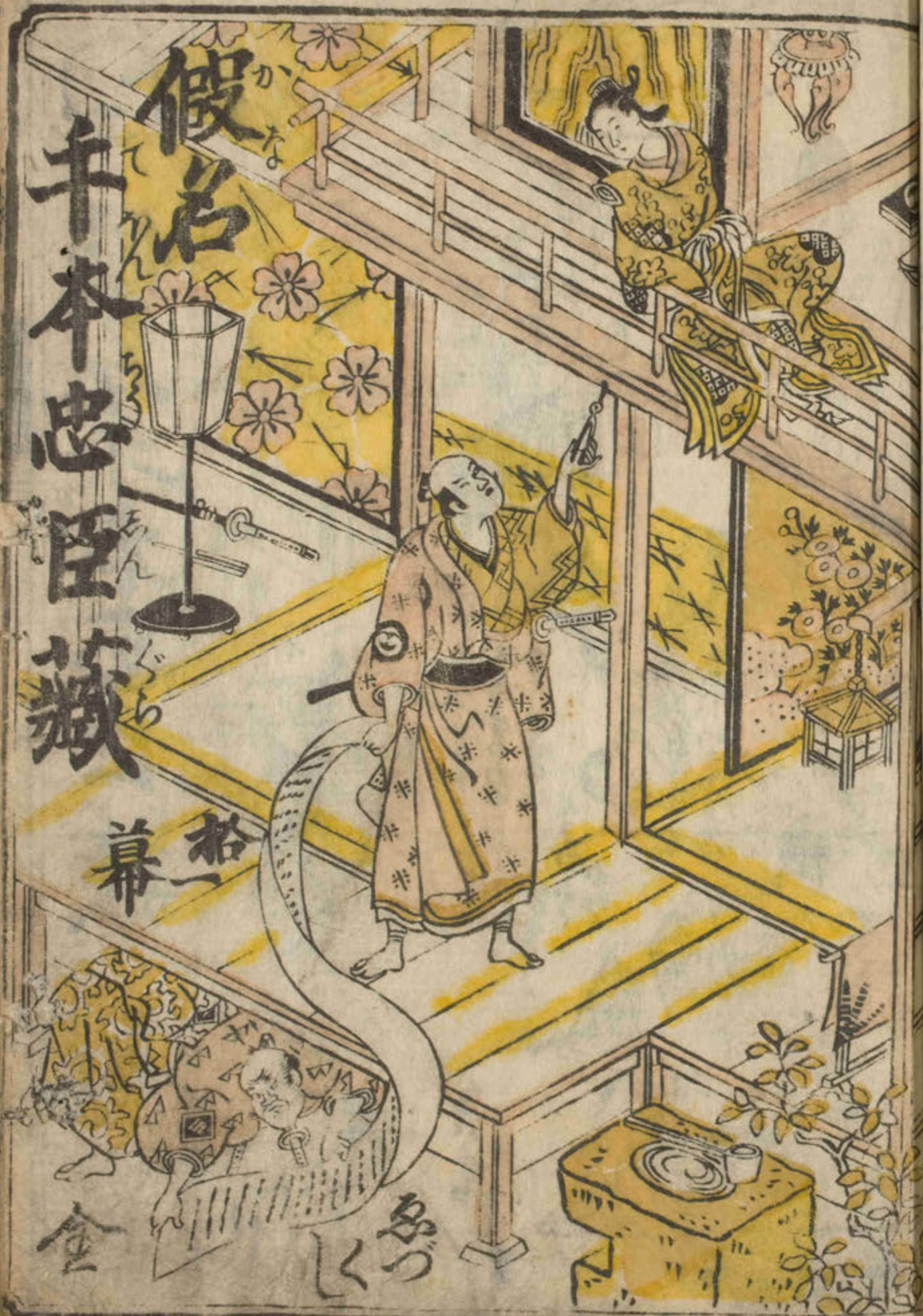
あつたて

あつたて

あつたて

あつたて

あつたて



假名
千本忠臣藏

幕

金

竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

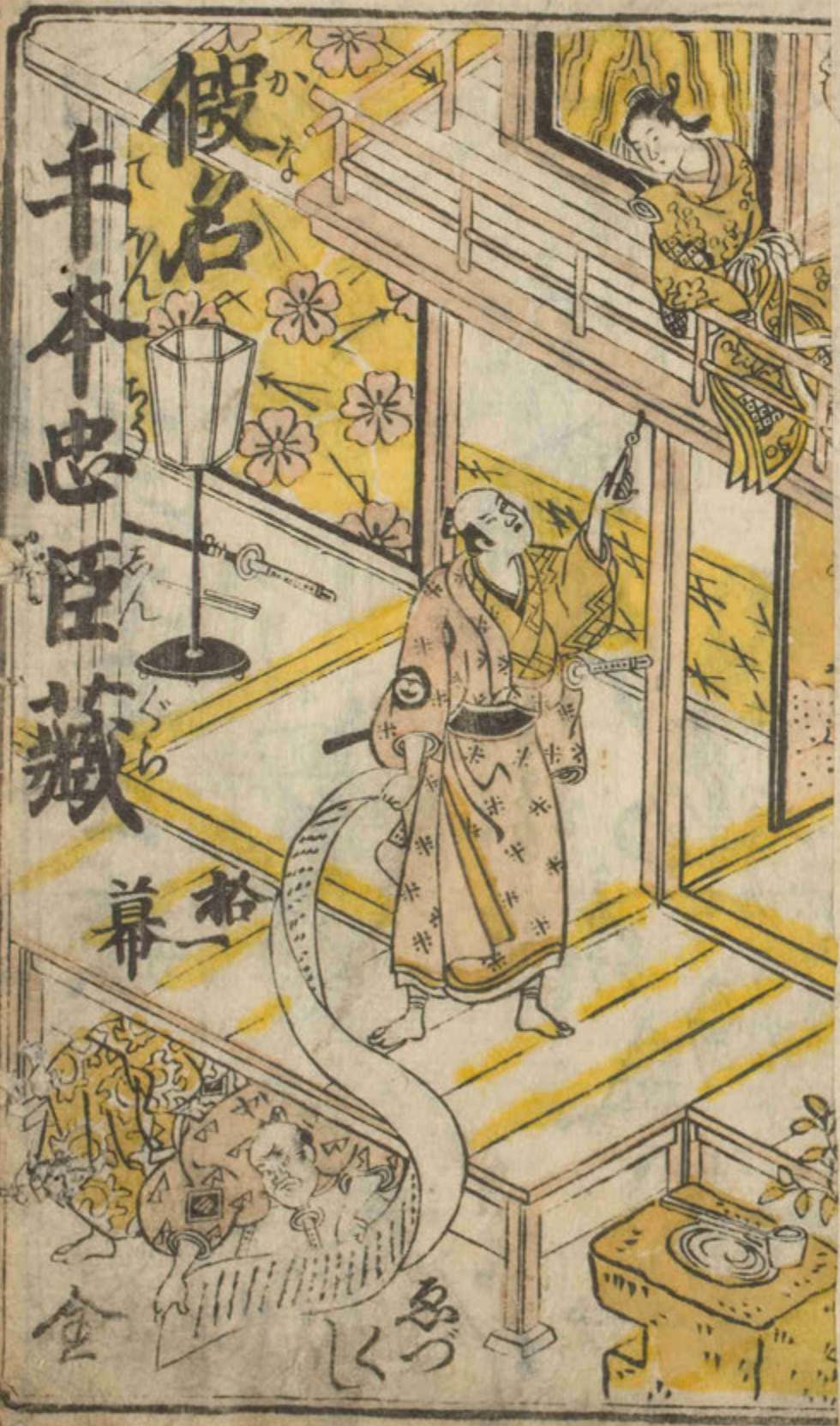
竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

竹本大隅掾

紅月朝野



紅月朝野

紅月朝野

名布袋梅之虫
度先嵐之禱

寛延二〇己八月
侍方行中音太夫
おき袋者並木上



あまの二玉
あまの二玉
あまの二玉
あまの二玉

あまの二玉

あまの二玉



あまの二玉
あまの二玉
あまの二玉
あまの二玉

あまの二玉

あまの二玉

あまの二玉



舟小舟とてはやれとてはめり
あつらんうらな
あつらん

張舟の嫁入

こゝろやんき
こゝろやんき

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん



九山科の舟

舟の舟
舟の舟

舟の舟
舟の舟

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん

あつらん
あつらん



文乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃



乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃



第一

竹平信儀更

第四

竹平政大更

第五

竹平百合更

第六

竹平政大更

第七

竹平比太更
竹平二太更
竹平十太更
竹平信儀太更
竹平百合更
竹平政大更

第九

竹平比太更

第十

竹平友太更
竹平政大更

第十一

竹平信儀更
竹平信儀更

三條線

菅原友信郎
菅原友信
菅原友信
菅原友信
菅原友信

第八

竹平比太更
竹平十太更

寛延元年八月十四日



侍宵侍従
優義藏人
源平

ぬの
布
いさの
引
な
瀧
あは續

金

あは續

源平月鑑

第一 竹本文の太史
第二 竹本波太史

東の町に下下町
波太史の板

[Faint handwritten notes and bleed-through from the reverse side of the page.]

綴目新編



侍宵待従
優義藏人

源平

布

引

瀧

又及續

全

第一 竹本文字史
第二 竹平漫史

東海道... 竹平漫史

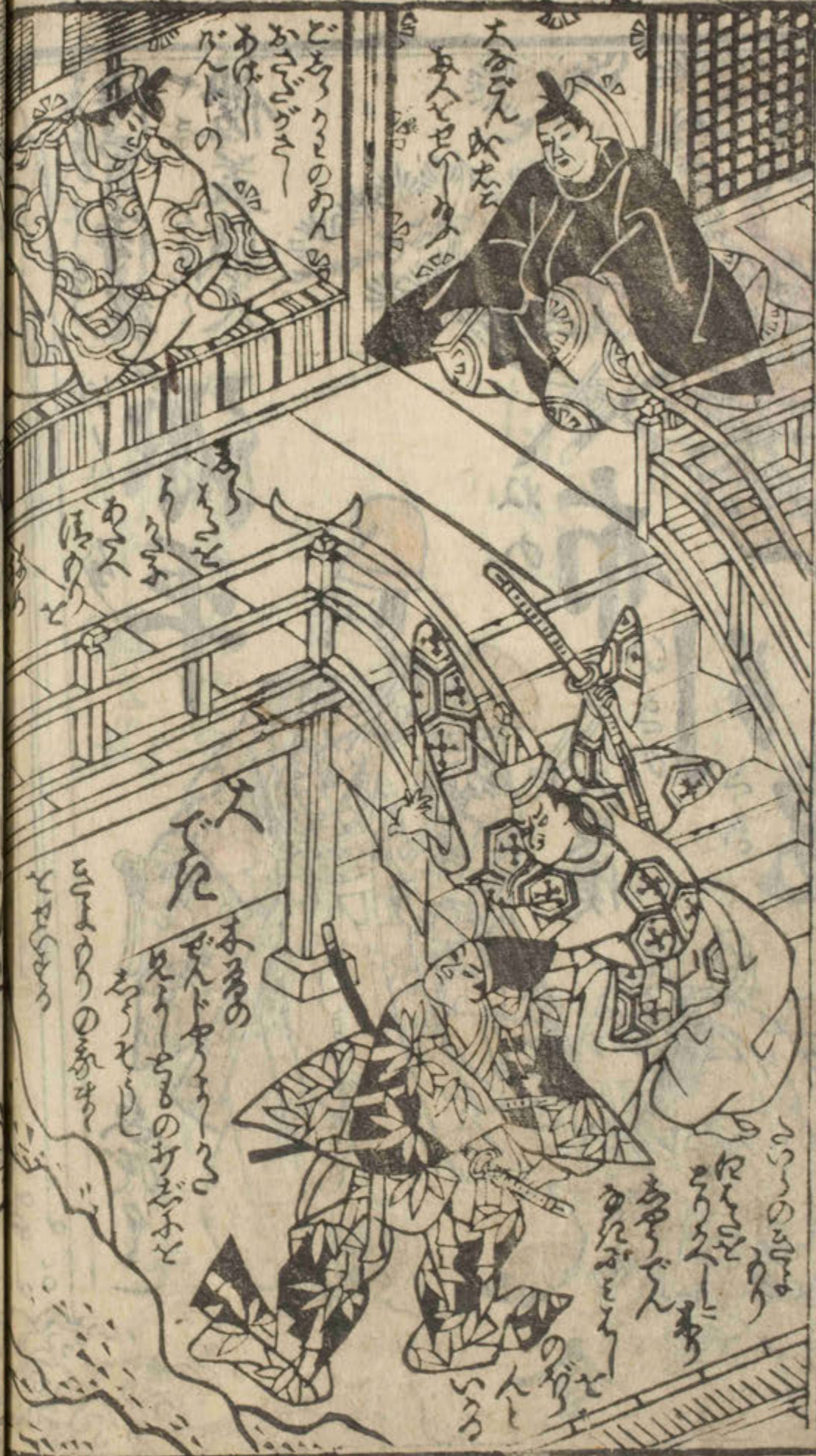
Various faint handwritten notes and bleed-through from the reverse side of the page.



待霄侍従
優義藏人

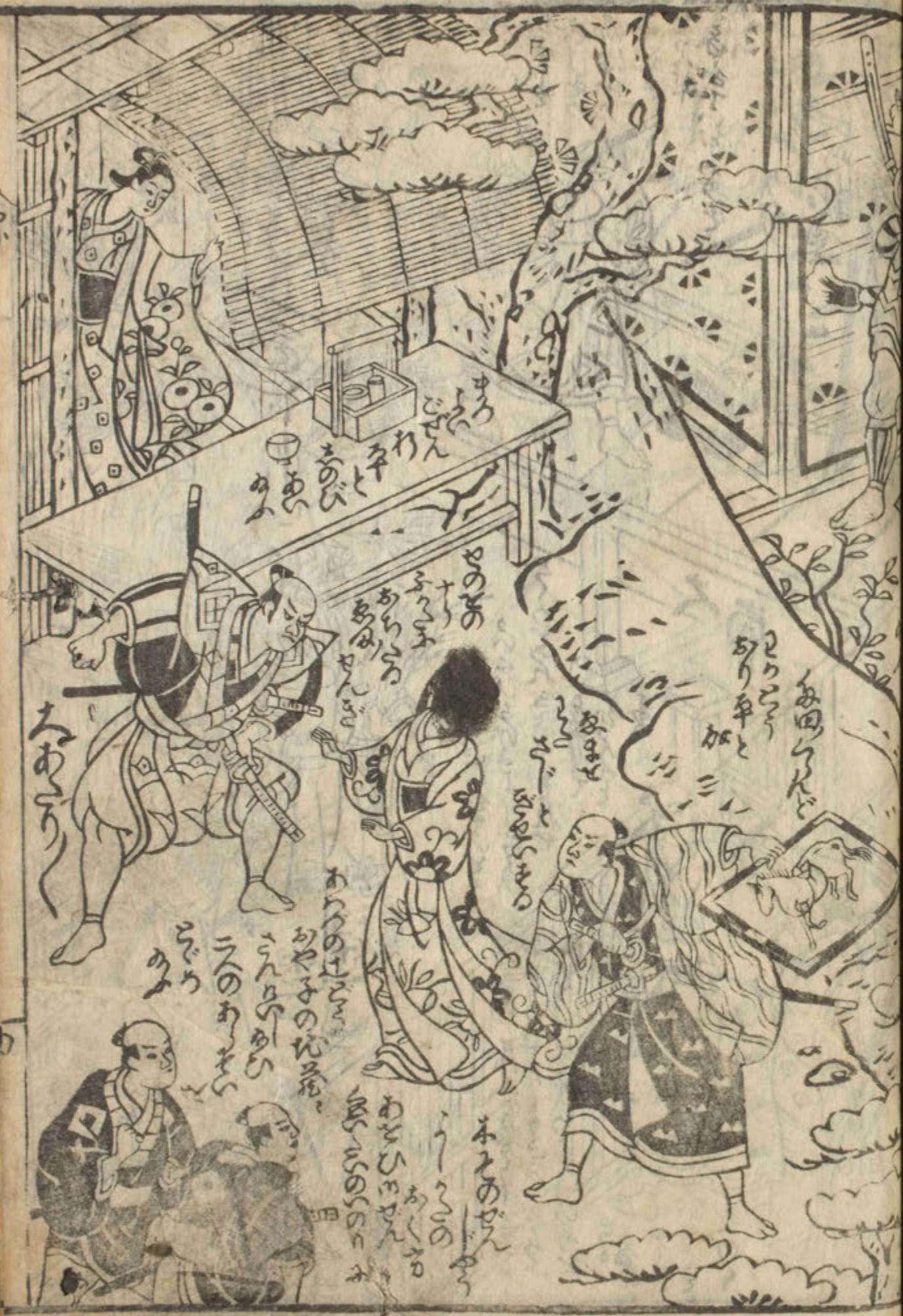
源平布引瀧

五段續



東

西



あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの





東

西のこれ
はこれ

おの
お

おれのまけ
り
のの
のの

おの
おの
おの

おの
おの

おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの

おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの



こゝろ
かんせ
ついで

あま
あま
あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま
あま
あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



源頼親

文成

全

世継梅

五葉梅

仁平入道

仁平入道

仁平入道

仁平入道

仁平入道





浪心
艦

釣船三枚
一寸徳業

夏祭



金魚強

夏祭



藤尾大吉



山田大郎



山田大郎



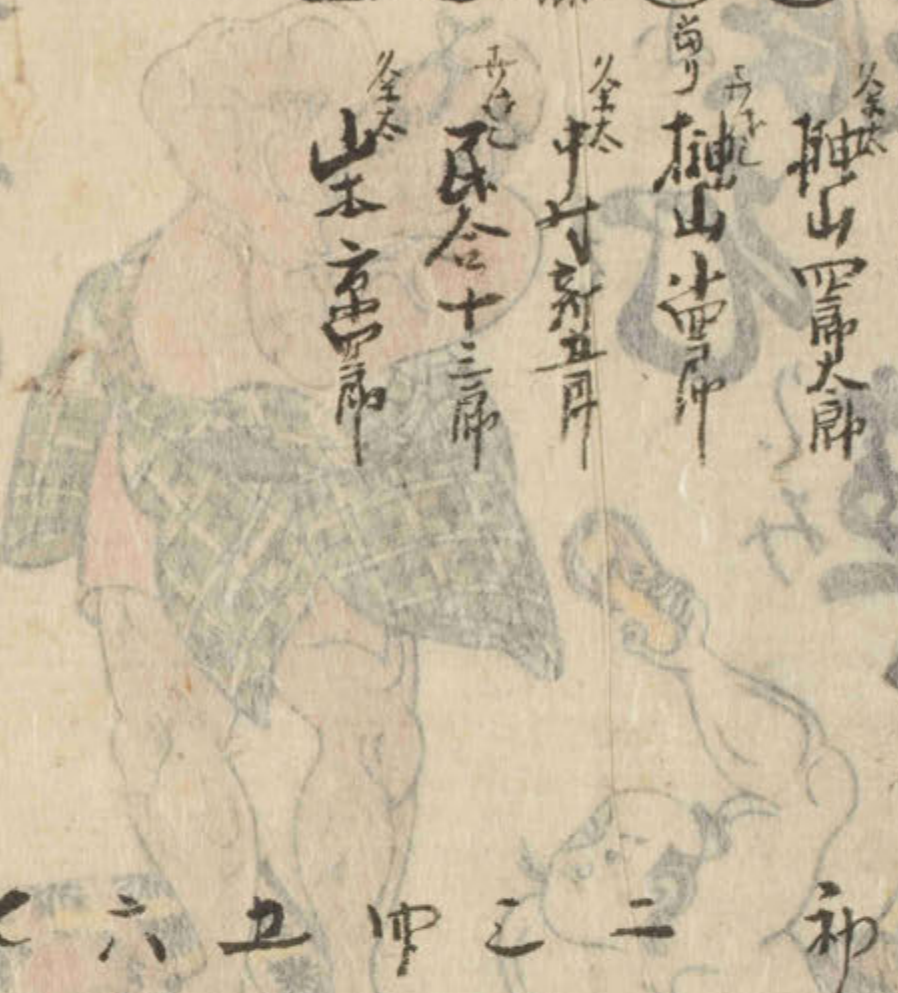
山田大郎



山田大郎



山田大郎



八七六五中二一

竹年白合書

竹年抄書

竹年抄書

竹年抄書

竹年抄書

竹年抄書

竹年抄書

竹年抄書



第九 親と子の縁を流すは...
 第八 友を以て己とすは...
 第七 胃を以て己とすは...
 第六 胃を以て己とすは...
 第五 胃を以て己とすは...
 第四 胃を以て己とすは...
 第三 胃を以て己とすは...
 第二 胃を以て己とすは...
 第一 胃を以て己とすは...

始りたる如く...
 物秋中、六日





かみ
の
ひ

七
の
中

か
の
あ
の
の

け
あ
た
り
あ
た
り



か
の
あ
の
の
七
の
中

あ
た
り

あ
の
あ
の
の

あ
た
り

あ
の
あ
の
の

あ
の
あ
の
の

あ
の
あ
の
の





何れ
あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん

大わら

うらやまの
こころを
さぐらん

大で
た

大も仇やちり

あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん



一寸の
布衣小
あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん

周七の
後し
あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん

あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん

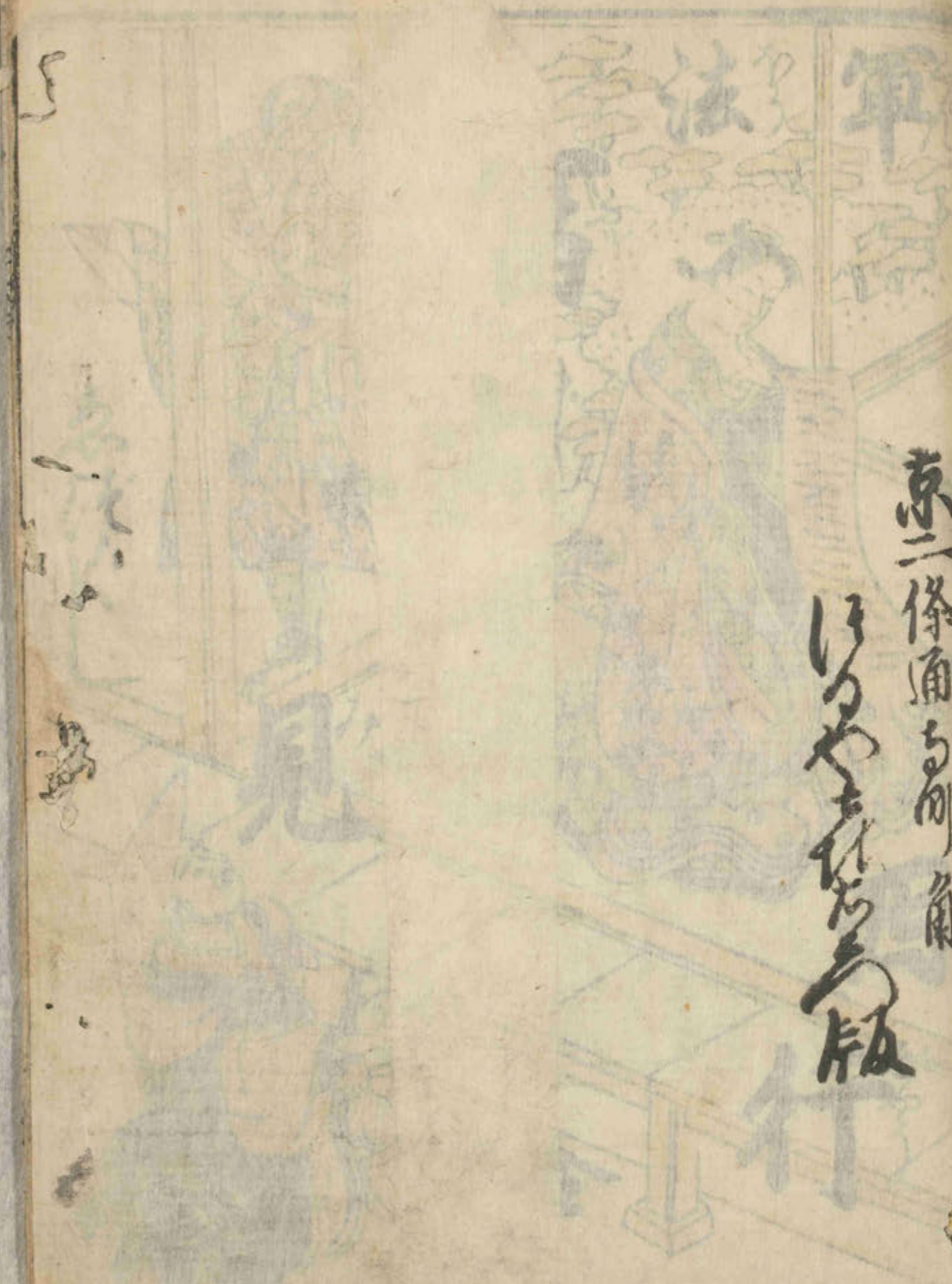
あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん

あはれ
うらやまの
こころを
さぐらん



京二條通ち向角

江戸女工の版





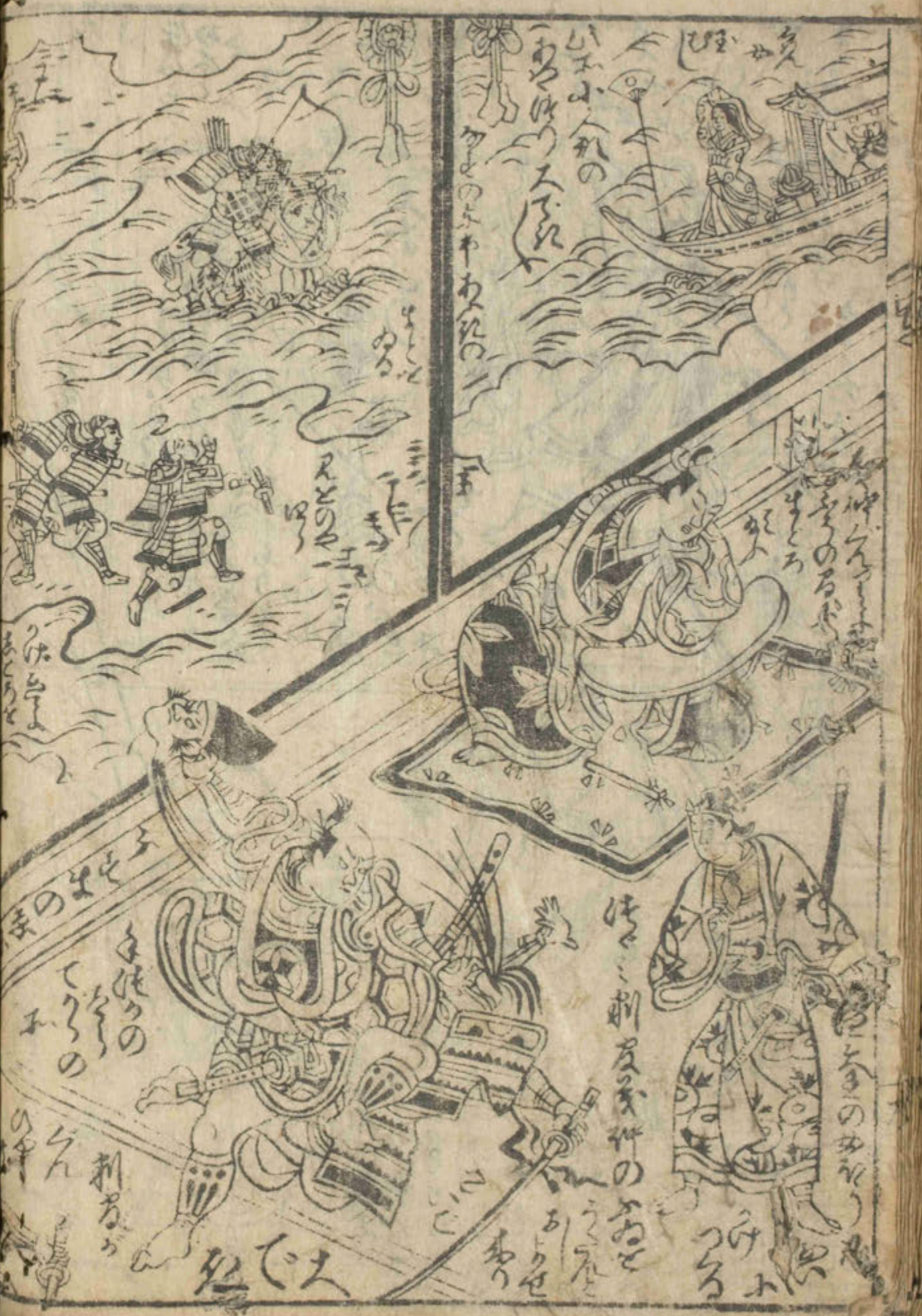
見
 西
 行
 金

三ノ宮
 御
 拜
 立

7







舟のくまの

あふ

わたしが

まのまの
てのの
あ

のま
あ

たて

はら

つる

あふ
あふ
あふ

あふ
あふ
あふ

あふ
あふ
あふ



東二条通寺町西口今
 正木左出古の巻物

三結

寢澤正五郎
 乃乃澤下之助
 乃乃澤重之助
 乃乃澤伊左衛門



